

FOR ALL THE MOTORCYCLE & MUSIC LOVERS

The Enshu Siast Magazine

TAKE
FREE!

エンシュージアスト 2018 / Vol.2



遠州・ものづくり・熱中人。

Right Place, Right Time〜キャンプミーティング
自分だけの「隠れ家」がほしい。

バイクを「借りて」プチツーリングに行こう!

ENSHUSIAST MUSIC SUMMIT 2018

40歳からの挑戦・大型二輪免許への道

遠州ものづくり企業の逆襲。... and more!

CONTAINER BASE OPEN!

コンテナハウスの魅力を体験できる^{ベース}基地を作りました。

NAKED、HALF BUILD、FULL BUILD、4×Cが提供するコンテナハウスのスタイルのサンプル。
そこにさまざまなこだわりのコンセプトを付加したモデルを展示しました。

CONTAINER BASEには常駐スタッフがおらず、
興味ある方、見学希望の方は必ず事前にお電話ください。
ご案内させていただきます。**tel.053-489-3113**

Enter



Container of
WOODEN

W



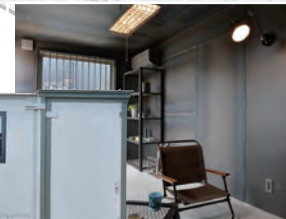
Container of
FULL BUILD

F



Container of
IRON

I



Aisle

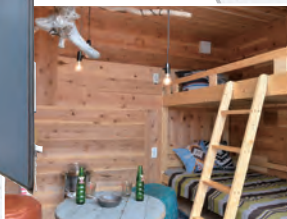
Container of
HALF BUILD

H



Container of
GLAMPING

G



Container of
CAFE

C



Container of
NAKED

N



Container of
MORTAR ART

M



あなたならどう使う?

Can you imagine how to use this place?

CONTAINER BASEは
レンタルスペースとしてもご利用いただけます。

仲間内のパーティーやバイクミーティングなどに利用してもいいし、

結婚式をやる人が現れてもいい。

どんな風に使うかは応相談。

あなたのクリエイティブなアイデアで他にはないこの空間を使ってください。

「TRASH OR TREASURE」

あなた次第です。

浜松初、コンテナハウスの専門会社誕生。



CONTAINER

コンテナハウスの販売・プロデュース

株式会社フォーバイシー

詳しくはHPにて <http://www.4xc.jp>

<本 社>

〒431-0101 浜松市西区雄踏町山崎3400-380

tel:053-489-3113 mail:info@4xc.jp

撮影協力：佐野モーターズ



展示予定

あなただけの「夢の空間」は、¥350,000+taxから。

NAKED ネイキッド



HALF BUILD ハーフビルド



FULL BUILD フルビルド



飲食、商業施設など、確認申請に対応したコンテナハウスもご用意しています。詳細はお問い合わせください。



CONTAINER BASE

レンタルスペース事業

CONTAINER BASEのレンタルスペース事業を、エンシュージスト編集部が管理させていただくことになりました。9月9日の「HOT tarakashi Meeting (P.14参照)」を皮切りに、自由で、楽しいスペース作りに協力させていただきます。お気軽にお問い合わせ下さい。

<お問い合わせ>

運営・管理：エンシュージスト編集部(キーウエストクリエイティブ内)

担当：石塚 tel.053-450-0222 container_base@key-w.com



VOL.2 CONTENTS

<i>EnshuSiaSt Profile</i> 「遠州の熱中人」	06
Right Place, Right Time	
<i>EnshuSiaSt Camp Meeting</i>	08
バイクで行ける、エンシェージアストおすすめショップ&キャンプ場ガイド	12
EnshuSiaSt's Choice!	
自分だけの隠れ家がほしい。	15
バイクを借りてプチツーリングに行こう!「浜名湖編」	24
Music & Motorcycle Leaders	26
遠州音楽人名鑑	28
ENSHUSIAST MUSIC SUMMIT 2018	
What's Natural Sound?	31
ヤマハ企業ミュージアム イノベーションロード	36
40歳からの挑戦・大型自動二輪免許への道	38
笛のおねえさんがエアロフォン・ゴーを吹いてみた。	42
<i>EnshuSiaSt Girl</i> ~ エンシェージアストガール	44
INNOVATION OF ENSHU	
遠州ものづくり企業の逆襲。	47
遠州の銘品「河合楽器製作所・ムーンサルト」	51
ENSHUSIAST INFORMATION	52
コラム~ ひらま良明の「819 DE GO!」	55
GS偏愛コラム ~ Good Day Sunshines	56
夫婦エッセイ~ Cuba Libre	58
From Editors ~ 編集後記のような話	59
EnshuSiaSt Friendry Shops	60
コラム~ 喫茶ゆるはま	62

AD INDEX (50音順)

遠鉄自動車学校・遠鉄磐田自動車学校…P.41、有限会社オグショー…P.46、川島モータース…P.45、株式会社クシタニ…P.04、スズキ株式会社…表4、株式会社フォーバイシー…P.02、ホースシューベンド…P.22、ヤマハ株式会社…P.30、株式会社ローランド…表3

The EnshuSiaSt Magazine Vol.2

2018年8月25日発行

Publisher : Hiroki Yamakawa Editor : Satoshi Ohnuma

Editorial Staff : Don U1 Sahara, Agito Ishizuka, Kousuke Ogusu, Mayumi Kuno

Backey Matsushita, Takuya&Mai Hiramatsu, Yamasan Yamakawa

Photo : Hidekazu Kurumiya, Takatoshi Kurebayashi, Agito Ishizuka, Kousuke Ogusu

Text : Don U1 Sahara, Texas Ohnuma, Agito Ishizuka, Cozy Kondo, Akihiro Osugi

Illustration : STINK SIGNS, Miki Yamashita, Takumi Watanabe, Bob Ueda



発行：有限会社キーウエスト クリエイトィブ
〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町101-22 エンシェージアスト編集部
TEL : 053-450-0222 FAX : 053-450-0225 mail : info@key-w.com

印刷：東海電子印刷株式会社

表紙撮影：motoPhoto (久留宮秀和)

モデル着用：ヘルメットX-803 ULTRA CARBON ¥68,500 (デイトナ tel.0120-60-4955)

ジャケットK-0687 MAVERICK JACKET ¥64,000/

グローブK-5305 AIR GPS GLOVES ¥12,500 (以上、クシタニ tel.053-441-2516)

撮影協力：モトサービスEDGE ms-edge.jp

※価格は全て税抜きです。



K-2316 CONTENT JACKET



We create the safety world.

www.kushitani.co.jp



16

Recorder player



リコーダーが好きすぎてリコーダー職人へ
笛のおねえさん 柿本春香

小学校の頃音楽の授業で初めて触れたリコーダーに心を奪われ、独学で練習しコンクールに出場。2010年には独奏部門にて最高位に贈られる花村賞を受賞。高校卒業後、リコーダーに熱中するあまりリコーダー職人の門を叩く。これぞまさしく熱中人と言えるであろう。現在は、リコーダーデュオ「フエニホン」での演奏活動や、リコーダー講師、テレビ・ラジオ出演と幅広く活躍中。「私にとってリコーダーは、人生における大切なパートナーです!」と、少し照れながら笑顔で語ってくれた。「リコーダーを通して、音楽の楽しさを子どもたちに伝えたい!」そんな想いを秘め、今日もどこかでリコーダーを吹いている。

リコーダー Duo フエニホン
<http://huenihon.jp>
info@huenihon.jp

15

Model Sculptor



モニターの中のカタチを現実の世界へ
電腦大工 金原和弘

東京の映像制作会社でゲームの背景やCMの特殊効果の3DCG制作に携わり、現在は浜松にて造形作家として活動。「自分の手で触れる造形物を」と、3Dプリンターを活用しデジタルとアナログの両面から作品を制作、販売している。ラインとシルエットを意識しながら制作している作品は2016年に手塚治虫文化祭〜キチムシにて手塚治虫キャラとのコラボレーションを実現、2017年には「狛狐」のデザインでカプセルトイになり全国展開している。最近ではオリジナルソフビを制作、アジアを中心に世界のマーケットへ展開中。根を詰めた作業の合間、気分転換に愛車SERROWに跨って出かけるのが楽しみ。

電腦大工
作品紹介 tumblr <<http://denno-daiku.tumblr.com/>>
twitter <https://twitter.com/denno_daiku>



14

Chair Repair



大切な家具を、想いを込めて再生する
株式会社スプラウト 代表取締役社長 上林健

長年使って想いがつまった椅子や家具、愛車のシート。上林氏は、その生地を張替えることで長く使えるように、新たな生命を吹き込んでいく。最近では張替えのみならず、クリーニングの提案も行なっている。「大切に使われている物とは真剣に向き合っています。張替えやクリーニングで身体がじかに触れる部分を綺麗にすれば、ずっと愛用してもらえて、地球にも優しいでしょ。」趣味のサーフィンで波と触れ合っている人らしい自然体な答え。その瞳には、お客様の想いと向き合う熱く真摯な姿勢が見えた。

株式会社スプラウト
浜松市東区下石田町1746-1
TEL.053-422-0555
<http://sprout.co.jp>

13

Trial rider



トライアルの楽しさを、一人でも多くの方へ
トライアルショップRIDER'S 二代目 木村大輔

全日本トライアル初代チャンピオンを父に持ち、自身も国際A級ライダーである木村氏。ショップを経営する傍、みんなで楽しめるトライアルイベント主催、その他スクール講師など、多方面で精力的な活動を続けている。「若者からベテランまで安全に長く笑顔で楽しめるのがトライアルの魅力。自分を育ててくれたトライアルの楽しさを、一人でも多くの方に伝えることが僕なりの恩返しです」。飾ることなく穏やかに語る彼の眼はずっと先を見ているよう。将来的なバイクの社会性まで見通す熱くて深い視点は、エンシュージャストにこそ欠かせない。

トライアルショップRIDER'S
袋井市村松2151 TEL:0538-43-6005
定休日:不定休 営業時間:10:00~19:00
tr-riders.jimdo.com

6月某日、 エンシュージラスト編集部が 掛川市にある ならここキャンプ場で 遠州のバイクや、ウェア、バッグ、 キャンプ道具などを 実際に使いながら とある会議をしていました。

ここはエンシュージラスト編集部。
巻頭特集のテーマが「キャンプツーリング」に決まり、「遠州は良いキャンプ場が
たくさんある恵まれた地域。だったら編集会議もそこでやらにゃあいかんに！」
ということとでわれわれ編集部も街を出ていさ掛川市のならここキャンプ場へ。
キャンプツーリングについて、編集部員自らが太いに語ったのであった。
文：テキサス大沼 撮影：久留宮秀和
撮影協力：ならここキャンプ場、ススキ株式会社、株式会社デイトナ
株式会社クシタニ、株式会社「ンチヨ」SWEN

●ライダーアパレル…(山川着用) スワungkジャケット ¥45,000、Eコーデュランツユースド ¥18,000、モカ
シンブーツ ¥42,000、シングルグローブ ¥9,800、ドライ
ロングスリーブTシャツ ¥3,600 (以上クシタニ TEL.053-
441-2516) (石塚着用) クラリティジャケット ¥32,000、
Eコーデュランツユースド ¥18,000、コンテンドロング
Tシャツ ¥8,500、レッグバッグ ¥9,000 (以上クシタニ
TEL.053-441-2516) HenlyBegins ショートブーツ
¥14,000、内縫いガンカットショートグローブ ¥7,800
(以上デイトナ TEL.0120-60-4955)
●キャンプ用品…MSR エリクサー2 ¥36,000、
THERMAREST プロライト ¥12,000、Helinox
チェアワン ¥11,500、NANGA オリジナルオーロラ
ライト500STD ブラック ¥27,800、UCO レスシャイ
¥2,000、ソーラーパフ ¥3,400、SOTO ミニポップ
アップテーブル ¥4,800、SOTO アミカスッカー
コンボ ¥5,537 (以上SWEN 浜松店 TEL.053-411-5133)
●車両…スズキVストローム250 ¥528,000 (ススキ株
式会社 TEL.0120-402-253)
●ツーリングバッグ…HenlyBegins ツーリングシート
バッグ DH-719 ¥19,000 (デイトナ TEL.0120-60-
4955)
※価格は全て税抜きです



Right Place, Right Time.



遠州が誇るレースギアの老舗。

クシタニ クラリティジャケット

当編集部のインプレは「走行中の風がうまく抜ける構造で、梅雨シーズンのこの時期でも蒸し暑さを感じなかった。生地もしっかりしていて、フードもアウトドアジャケットと考えれば◎、今回のようなキャンプツーリングにはベストマッチ。」機能とデザイン性が高次元でバランスした一着。

お問い合わせ：株式会社クシタニ
http://www.kushitani.co.jp

今回は横幅約51cmのMSRエリクサー2に合わせ、サイドの可変ファスナーを広げて使用。V-Strom250へは純正サイドケース取付け穴に付属ベルトできっちり固定でき、スタイリッシュ。内部の補強フレームと補強板によりスクウェアな外観が崩れないのも、さすがバイク用品専門メーカーであるデイトナ品質。

お問い合わせ：株式会社デイトナ
http://www.daytona.co.jp

HenlyBegins ツーリングシートバッグ

DAYTONA バイクパーツのことなら。

スズキ独自の フォルムを継承した、 スポーツツアラー。

SUZUKI V-Strom 250

ロケでライダーを務めたアジト石塚は「とにかくエンジンが良く回るから、走っていて気持ちいい。ずっと乗り続けていたくなるバイク。足付き性もいいのもポイント。250としては大柄な車体だが、ビッグバイクほど重くないから取り回しが良く、つつい寄り道したくなる。できればこのまま家に連れて帰りたいほど。」と大いに気に入った様子。バイクとしての基本性能の高さが、そのまま走りの魅力につながっている編集部もオススメの「旅バイク」。

お問い合わせ：スズキ株式会社
http://www1.suzuki.co.jp/motor/

遠州を代表するアウトドアショップSWENからは、入門者にも扱いやすくコストパフォーマンスの高いMSRエリクサー2を借用。本来2人用の室内はソロキャンプでは充分以上の快適な居住性を実現。両サイドに入り口と前室を備えているため、設営の自由度が高いのも大きな魅力。

お問い合わせ：SWEN
http://www.casa-swen.com

M.S.R エリクサー1

キャンプグッズが揃う
総合アウトドアショップ。



Camp Meeting of Enthusiast

今日のミーティングはサクッと 山方面でやってみようか。

遠州の、遠州による、
遠州のためのツーリング。

浜松市中央区にある編集部からならここキャンプ場までは片道約40km。時間にして1時間ほどのちよつと良い距離感だ。道中も気の向くままにふらつと寄り道したり、旬の食材を買ったりしても、のんびりとキャンプ場入りが出来てしまふ。実は遠州のあちこちにこうしたキャンプ場が点在していて、キャンプ派のライダーには思われた地域でもあるのだ。

本誌発行人、山さん山川は「都会のライダーは『非日常』を求めて、何百キロと走らなきゃいけない。自然とツーリングも計画的になっちゃうよね。その点、遠州だと海を見なければ南に、山に行きたければ北に、って具合で1時間も走れば自分の行きたい場所に行けるから、すごくライトな感覚でアウトドアを満喫できるのが最大の魅力じゃないかな。」と語る。ツーリングには「旅」の要素も含まれているが、フラットと思いついたときに「キャンツー」できる遠州は、やはりライダーにとってパラダイスの地である。

遠州のバイクに 遠州のギアを乗せて。

「キャンプツーリング」と言えば、出かける前の「ギア選び」は最大の楽しみ。昔からライダーとは、生粋の「ギア好き」と相場が決まっているものだ。職業柄道具に対するこだわりの強い力



メラマン久留宮は「最近のキャンプギアは小さくて精巧に出来ているよね。ツールとしての完成度が高いから、モノとして愛着が湧くし、使うのが楽しくなる。それがツーリングの目的のひとつだね。」とベテランらしい意見。

それに対し、昨年念願のスポーツスターを手に入れ、ソロキャンプにハマっている編集部ドン・サハラは「自分のギア選びのポイントはスバリ『色』。赤と黒で揃えてます。コンパクトさも大事だけど、無駄に大きくても自分の好きな色で揃えると、キャンプ場でセッティングした時に『とにかくカッコイイ!』と言い切る。確かにライダーのギア選びは、とくに機能優先になりがちだが、ドンのように自分のテーマを決めて選ぶのも大いにアリ。要はキャンプに自分がどんなイメージを持つかが大切なのだ。

皆の意見を聞いていた最年長のアジト石塚が「最近の道具はこんな便利になったのかと正直驚いている(笑)。自分が好きなのはグラッドシートとナイフ一本でどこまで出来るかっていうシンプルなスタイル。そういう『サバイ

バル」感が自分の動機だ。」と言うと、「二回うなずく。『バイク、アウトドア』人、火…。キャンプの原点はサバイバルだから。言い換えると『ミリタリー』という味付けがバイクとは相性がいい。究極の機能美というのが、ライダーのその気にさせてくれる。」と山川。ライダーの好みは人それぞれだが、道具の話になると話題が尽きない。優れたモノには人を動かす力がある、というところは確かだろう。

僕たちが『遠州』で走る理由。

それぞれが「遠州のツーリング」について、その魅力や持論を語った。

「ちよつと足を延ばせば、走っていて気持ちいい景色に出逢える。被写体に牛が欲しいな、と思えば、なぜか牛がいるみたい(笑)。」と久留宮。

「キャンプツーリングは自分の好きなものばか

り。クルマだといろんなことが複雑で、シンプルに好きなものだけに囲まれて過ごせるっていうのが自分にとっての魅力。」と言っドン。

「昔乗ったビッグバイクより、今回のV-Strom 250の方がちよつと良い感じで、ずっと乗り続けていたくなる。この後はちよつと海に夕日を見に行こうかって、多分南に走れば着くよね(笑)。」と石塚。

「遠州のツーリングは行きも帰りもいい。ならここへの道中には季節の花も多く咲いている。山も海も川もあって、自分で見たい風景を切り取りながらルートが組める。これが遠州の懐の深さじゃないかな。」と山川。

思いつきで始まった今回の野外編集会議。自然の中で気持ちが解放され、遠州とキャンプツーリングの魅力を再確認する有意義な時間となった。思い立ったときに自分の思う場所に行ける自由さ、それが遠州の一番の魅力であるだろう。



SWEN浜松店長、野中氏の監修のもと、エンシェージアストがソロツーリングキャンプに適した基本的な道具をチョイスしてみた。容量のあるツーリングバッグがあれば、これに食材などを加えてもまだ余裕がある。

①HenlyBegins ツーリングシートバッグDH-719 ¥19,000 (デイトナTEL.0120-60-4955)
②MSRエリクサー2 ¥36,000 ③NANGAオリジナルオーロラライト500STDブラック ¥27,800
④SOTOミニポップアップテーブル ¥4,800 ⑤THERMARESTプロライト ¥12,000 ⑥Helinox
チェアワン ¥11,500 (以上SWEN浜松店TEL.053-411-5133) ⑦snowpeak テンマク
300 (スタッフ私物) ⑧SOTO アミカスッカーコンボ ¥5,537 ⑨UCO レスチャイ ¥2,000 ⑩
ソーラーパフ ¥3,400 (以上SWEN浜松店) ⑪パウル ホットサンドメーカー (スタッフ私物) ⑫
HenlyBegins マイクロレインスーツ ¥14,800 ⑬コンパクトジャンプスターター ¥13,800 (デ
イトナTEL.0120-60-4955) ⑭ベンドルトンブランケット (スタッフ私物) ※価格は全て税抜きです



⑭ 吉川キャンプ場カワセミの里

周智郡森町亀久保85-2
TEL:0538-85-9800 予約受付時間:8:30~17:00
利用料:テント持込1泊2,000円・施設利用料(1名/1日につき)200円
定休日:年中無休

アクティ森から吉川上流へ5分、旧吉川小学校跡地にある四方を緑に囲まれた自然豊かなキャンプ場。裏手には清流「吉川」が流れ、バーベキューや自然観察も楽しめます。5棟のバンガローをはじめ、炊事棟・シャワー室も完備されていて、キャンプ初心者でも安心して利用できる。<http://www.cottage-acty.net/camping.html>



⑮ Rise Burger

掛川市南1-6-11サンメモリーハセガワ105
TEL:0537-29-6613
営業時間:11:00~15:00、18:00~22:00 定休日:水曜日

「STINK SIGNS」によるサインペイントとダイナーテイストの店内がとてとてもクールなアメリカンスタイルハンバーガーショップ。ジューシーなビーフ100%・パティと地元産野菜をたっぷり挟んだハンバーガーはボリューム満点。「お子さんからお年寄りまで気軽に立ち寄ってほしい」というオーナーの人情も◎。



⑩ DELICIOUS KITCHEN

浜松市南区御本町28 TEL:090-6023-9800
営業時間:10:00~16:00 金・土のみ夜営業(18:00~21:00)あり
定休日:日曜日

大きなカーポートの屋根を利用して作られたユニークな店舗。「うちは定食屋」と胸を張る女性シェフの作る、季節で入れ替わる定食メニューはどれも美味しくて満足感大。日替わりのランチも好評だ。貸し切りでの利用や、パーティーやイベントへのケータリングも相談に応じてくれる。



⑦ TARI CANHA Murakushi BEACH

浜松市西区村柳町5747-1
TEL:090-9029-1251 受付時間:9:00~16:00
利用料:テント持込1泊1,300円+バイク1台1泊1,000円
オープン・全曜の夜・土曜の昼夜日曜の星(に利用に当たっては事前にご連絡ください)
村柳海水浴場として海の家が並んでいた跡地を利用したキャンプ場。目の前の浜名湖越しに見える夕陽は絶景。コンテナハウスの管理棟を中心にドッグランやストア、BAR、カフェも併設され、キャンプ以外でもふらりと立ち寄って水迎でのんびりできるスペースになっている。ちなみに船でやってきてキャンピングもできる。



④ しばちゃんランチマーケット

掛川市大和田25
TEL:090-2342-2725 営業時間:10:00~17:00
定休日:火曜日

柴田牧場のジャージー牛乳を使ったソフトクリームやスイーツが人気のカフェスペース。ならここキャンプ場にもほど近く、ツーリングの休憩地点としてもオススメ。小さな橋を渡って牧場の牛を眺めたり、オープンテラスからの小川のせせらぎを感じたりと、穏やかな自然の中でゆったりと過ごせます。
<http://www.shibachanchi.com>

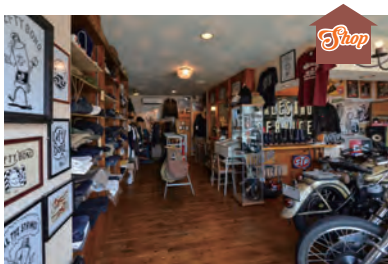


① ならここキャンプ場

掛川市居尻179番地
TEL:0537-25-2055 受付時間:9:00~16:00
利用料:テント持込1泊1,200円+バイク1台1泊800円
定休日:11~3月のみ第1・3火曜日(祝日の場合は変更あり)・年始
総面積16,800㎡の敷地にバンガロー27棟、コテージ5棟、テニスコート、売店のほか、約100台分のオートキャンプ用サイトが備えられています。春には桜、秋には紅葉など四季折々の景色を楽しむことができ、原野谷川の吊り橋を渡って5分ほどの場所に源泉100%の温泉が楽しめる「ならこの湯」があるのも魅力。

2018/9/9 (SUN)
エンシュージアスト主催
ほったらかし
ミーティング
開催します!
詳細はP.14をご覧ください。

HOT tarakashi MEETING



⑪ クロッシングショップ LEFTY BOND

掛川市大池2896-1
TEL:0537-26-9068 営業時間:12:00~20:00
定休日:月曜日

アメカジを基本にTROPHY CLOTHING、ADDICT CLOTHINGなどのライダーに人気のブランドが並び店内。服とバイクを熱愛するオーナーの飾らない人柄とセンスに誘われ、地元だけでなく遠方からの来店も多い。今後はオリジナルアイテムも増やしていくそうで、ライダーなら一度は足を運ぶ価値アリ。
<http://leftybond.com/>



⑧ 森の市 (JA遠州中央)

周智郡森町森1731-2
TEL:0538-85-0831 営業時間:9:00~18:00
定休日:年中無休(盆・年末年始・年始を除く)

森町で生産された新鮮な野菜や果物、特産品などを良心的な価格で販売。なかでも6・7月のトモロコシ「甘々娘」「甘太郎」、11月の治郎柿、12~2月のレタスは、旬の時期になると豊富に店頭へ並びます。原木シイタケ、森の銘茶、タケノコなどもおすすめ。ツーリングのお土産やキャンプ用食材の調達にも利用ができそう。
<http://jaenchu.ja-shizuoka.or.jp/business/direct/mori/>



⑤ 本田宗一郎ものづくり伝承館

浜松市天竜区二俣町二俣1112
TEL:053-477-4664 開館時間:10:00~16:30
観覧料:無料

休館日:月・火曜日(祝日の場合は開館、水曜日を休館) 年末年始
磐田郡光明村(現浜松市天竜区)生まれの世界的な偉人、本田宗一郎の「ものづくり精神」を伝えるため、カブF号を始めとするホンダ歴代のバイクや宗一郎直筆の絵画など貴重な資料を展示して紹介。バイクに関するグッズ販売コーナーも充実して、ツーリングの記念に購入するのもオススメ。



② SWEN浜松店

浜松市東区和田町883-1
TEL:053-411-5133
営業時間:平日11:00~19:30 土日祝10:00~19:00 定休日:水曜日
キャンプ用品をはじめ、遊びのアイテムが溢れる店内は、見るだけで気分がワクワク。併設される「スノーピークストア」では最新ギアから定番商品が揃い、中にはカタログ未掲載のレア物やストア限定商品も。アウトドアに精通するスタッフが親切に対応してくれるのでキャンプ初心者でも安心です。
<http://www.casa-swen.com/>



⑫ てんてんゴーしぶ川キャンプ場

浜松市北区引佐町渋川237-1
TEL:053-545-0452
受付時間:チェックイン13:30~17:00チェックアウト9:00~11:30
利用料:フリーテント1サイト1,080円(二輪車専用)
定休日:なし(通年営業)

新東名浜松いなさインターより15分、奥浜名湖の山々に囲まれた自然豊かなキャンプ場。コテージやバンガローもあり、共同浴場も完備。(いずれも有料) 春夏は清流で川遊びもでき、本格的なトライルコースではレベルに合わせてバイクトライアルが楽しめる。子どもから大人まで誰もが自然を満喫できます。
<http://www.tentengo.jp>



バイクで行ける、 エンシュージアストおすすめ ショップ&キャンプ場ガイド

街から海へ、山へ、川へ、湖へ…。季節の風景を眺めながら遠州を楽しむのは自由自在。今日はどこのキャンプ場に行こうか。そんなツーリングの途中、キャンプ用の食材を調達したり、敢えてバイクで立ち寄ってみたい店もある。そんなショップ&キャンプ場をエンシュージアストが厳選、紹介します。



⑨ はまなこ みんなのカフェ

湖西市利木226-1
TEL:053-578-3888 営業時間:10:00~17:00
定休日:水曜日、その他 ※祝日の場合は営業

目の前の浜名湖を眺めながら、のんびりお食事、ティータイムを楽しめる。無農薬野菜を使った自家製ベーグルサンドプレートが人気メニュー。自家製素材を使ったスイーツもオススメ。自転車、バイクでの来店も多い。村柳ビーチに支店あり。
<http://hamanako-minna.com/>



⑥ Nel Cafe マイルストーン

浜松市天竜区横山町711
TEL:053-923-1250 営業時間:10:00~18:00
定休日:水曜日

自家焙煎コーヒーと、JBL×McIntoshで聴く極上のJAZZが楽しめる隠れ家的なカフェ。自慢のコーヒーは焙煎前・後にハンドピックで良質な豆だけを選別し、適度な時間のエージングで最高の状態で提供。建物は天竜の山々を望む高台の古民家をリノベーション。その落ち着いた空間で味わう一杯は至極のひととき。



③ GENUINE JEANS SHOP Spiral

浜松市天竜区二俣町二俣1385
TEL:053-925-6001 営業時間:11:00~19:00
定休日:木曜日※臨時休業することがあります。

ジーンズカジュアルを中心に「良いものを長く楽しんで着てもらう」を提案するお店。ヴィンテージレプリカの国産ジーンズを多数揃え、中にはここでしか手に入らないブランドも。服をこよなく愛するオーナーは、実は隠れたミシンコレクター。ユニオンスペシャルによる裾上げが当時の風合いを完璧に再現。
<http://www.spiraljeans.jp>

Right Place, Right Time.

自分だけの 隠れ家 がほしい。

それはクルマ、バイク、キャンプ、音楽、サーフィン・・・自分だけの趣味を謳歌するための秘密の場所。

バイクをトコトンいじれる専用のガレージから、中古のコンテナを利用したアイデア満載のコンテナハウス、アソビをそのままフィールドへ持って行ける理想的なトランスポーターまで、熱中人なら誰もがほしい「隠れ家」をエンシュージアストならではの視点で選りすぐりました。

Enshu
SiaSt's
Choice!

エンシュージアスト

が、浜名湖にやってくる！

デリシヤスキッチン
& ミツノシマジヤム
デリシヤな
FOOD&DRINKと
ミツノシマジヤムの販売

サイレント
ストリートミュージック
S.S.M
ストリートライブの
新しいカタチを提案！

シークレット
ブース
何が入っているかは
開いてからの楽しみ！

エンシュージアスト
協賛ブース
協賛各社のヘルメット、
ウェアなどを展示

ミュージック
スタジオ
本紙掲載ヤマハ
ワイヤレススピーカー展示。
試聴もできます！

アジト
コレクション
オリジナルの
シルバーアクセ、
造形モノの展示販売

エンシュージアスト
出張編集部
編集部秘蔵の
コレクションを大放し！

フリー
ミーティング
ルーム
自由にダベって自由に
休める、休憩ブース

Enshu SiaSt

HOT
tarakashi
MEETING

エンシュージアストほったらかしミーティング

エンシュージアストが主催する「ほったらかしミーティング」は魅力的なコンテナが並ぶフリースペースを利用したライダーのためのライダーによる、とんじかないイベント。ツーリングの行きに、帰りに、または待ち合わせ場所などに、自由気ままにご利用、お立ち寄りください。



2018 **9.9** SUN
10:00 ~ 15:00

会場

株式会社 フォーバイシー
「4×C CONTAINER BASE」

〒431-0101 浜松市西区雄踏町山崎

飲食の持ち込みは自由（ゴミはお持ち帰りください）
基本的に水道・トイレ（簡易トイレはあり）はございません

Enshu SiaSt

主催・企画：エンシュージアスト編集部

協力：株式会社 フォーバイシー

☎053-489-3113

<http://4xc.jp/>



Enshu SiaSt 14

自分だけの隠れ家がほしい。



愛車の周りに所狭しと並んだ、お気に入りのアイテムたち。誰にもジャマされず整備に没頭する時間が賢い。

今回のDIYは床と壁、天井を木で覆うという簡単なもの。材料も全てホームセンターで手に入るものばかり。1人で作れないことはないけれど、友人を集めて2〜3人で作業するのが効率よく、安全なのでおすすめ。電動ドライバーは必須で、事前にガレージ内のサイズを測り、必要な板をホームセンターでカットしてもらったことをお忘れなく。

最初に取りかかったのは、床作り。9mmのOSB合板をそのまま並べていく。床を作ることでバイクを載せたときの荷重が分散されるほか、ガレージ内の湿気を吸収してくれる効果がある。今回は合板を置いただけだが、金属用のネジを打って固定するのがベスト。続いて壁を施工。今回は窓とアルミドア（ともにオフショウ）が付いているので壁に柱があり凸凹しているが、標準仕様は柱がなく平ら。内壁は外壁を兼ねていて、そのままネジを打つと穴が開いてしまうため、間柱を設置する。ネジは使わず、ジャストサイズにカットした柱をはめ込んでいく。この間柱に4mmのラワン合板を木ネジで

DIYガレージの予算は1万円 3日間で憧れの空間が完成！



ガレージは自分だけの秘密基地だけでなく、愛車を盗難や災害から守ってくれる重要な役割も果たす。



サイズにあわせてカットしたOSB合板を敷き詰めるだけという手軽さがいい。



壁に設置した間柱にラワン合板を打ち付けていく。すき間に断熱材を入れてもOK。



天井の梁（はり）に板を施工。事前に位置あわせをするのがきれいに仕上がるコツ。

打ち付ける。慣れればここまで2時間ほど。休憩しながら徐々に部屋らしくなっていくガレージを見るのが楽しい。続いて天井の梁（はり）に2mmのラワン材を金属用ネジで止める。壁と同じく天井も外壁を兼ねているので、間違つてネジを打つと雨漏りするので注意。天井は1人では難しいから、友人に支えてもらいながら作業するのがベター。壁と天井を取り付けることで、最低限の暑さ対策にもなる。より快適な空間を目指すなら、壁とラワン合板の間に断熱材を入れるのもおすすめです。最後に照明やハンガーなどを吊るすバーを取り付けて終了。計画を立て、材料の買い出し、設置で3日ほどあれば完成する。かかった費用は1万円。武骨だったガレージが、味のある空間に様変わりした。

「使用した材料」OSB合板9mm（床用）、ラワン合板4mm（壁用）、ラワン合板2mm（天井用）、木ネジ、金属ネジ

ナンスグッズ、ツリーングアイテムをたっぷり収容することができる。また波状になった屋根のすき間から電源コードを入れられるので、電気工事することなく、手軽に照明を設置できるのもうれしい。完成したガレージに佇む愛車が、普段とはちがう表情をみせてくれる。



愛車とインテリアを並べて、DIYガレージが無事に完成。これから憧れのガレージライフがスタートする。

デイトナモーターサイクルガレージ



ベーシックシリーズ
264,000円（税別・配送・工事費含）～
お問い合わせ：株式会社デイトナ
静岡県周智郡森町一宮4805
TEL.0120-60-4955
<http://www.daytona.co.jp/>

株式会社デイトナ「遠州森町」

デイトナ・モーターサイクルガレージ

Enshu Sias's Choice!

バイクをトロコト
いじりたいなら。



自分だけの隠れ家がほしい。



趣味はすべて コンテナの中に。

コンテナハウスには
不思議な魅力がある。

台風12号、JONGDAE(ジョンタリ)が遠州灘を東から西へと駆け抜けていった夜、私はたった6畳ほどの大きさであるコンテナハウスにいた。雨が窓や壁に叩き付けられ、庭にあるシマトネリコが風に翻弄されている。しかしこの嵐の中、ここにいる孤独感が案外心地よかつた。それは、初めての居場所であった自分の部屋で、台風を夜を過ごしたあの時と何も変わらない。

あの夜と同じように私はレコードを聴いている。ターンテーブルで針を落とすのは、レーナードスキナードのファーストアルバム。今夜はこれを聴きながら寝よう。外では相変わらずJONGDAEが騒いでいる。目を閉じながらあの頃を思い出す。久しぶりに故郷の景色が見たくなった。そうだ、明日、JONGDAEが抜けていたらバイクで行ってみよう。そう思った頃、曲は「フリー・バード」になっていた。

たった6畳ほど、決して広くない場所に好きな「モノ」を詰め込む。自分だけの居場所。それは子どもの頃、初めて与えられた自分の部屋、



古本や中古レコードを扱うネットショップの事務所兼、時々ショップ。オーナーの好きなモノで囲まれている。

あるいは初めてひとり暮らしをしたアパートの部屋に似ている。好きなモノしか置いていないあの部屋、全てが手の届くあの場所。

コンテナハウスも同じだ。だからこそ、あの時の何かに夢中になった気持ちが蘇る。そしてひとりのオトコとしての脳細胞が動き出す。そんな魅力を持つコンテナハウス。そろそろいいじゃないですか？人生をJONGDAE(再起動)しましょう。

コンテナハウスは3つのスタイル

※全てのスタイルにおいて、現地調査、運送費、設置費用(ブロック基礎)は含まれております。



NAKED

¥350,000+tax~

コンテナを提供します。そのまま使うのもよし、工事するもの全てを自分で行うスタイル。



HALF BUILD

¥1,000,000+tax~

下工事(サッシ、壁や床、天井などの基礎工事)をしてお渡します。床、壁、仕上げを自分で行うスタイル。



FULL BUILD

¥2,000,000+tax~

打合せをしながら、あなただけのコンテナハウスを完成、提供するスタイル。

Enshu
Siast's
Choice!

浜松初。
コンテナハウスの専門会社、
フォーバイシー。

コンテナを販売する会社は決して珍しくない。しかしフォーバイシーはコンテナをあなたが思い描く居場所に変えて、コンテナハウスとして提供してくれる会社。そんな会社は検索してもなかなか出てこない。コンテナハウスを手がけて、わずか3年。彼らが手がけるコンテナハウスは、すでに100件を超える。東は新潟、西は三重と、ところを選ばず評価されている。その秘密はプロデュース力。いままで様々なコンテナハウスを提供してきた。バイクの隠れ家、雑貨作家のアトリエ、古本とレコードの販売を扱うネットショップの事務所。全てがオリジナルで個性的。まさにオンリーワン。

「コンテナって、面白いんですよ」代表の佐野は言う。「用途は変わらないうんですが、打合せをしていくと話が盛り上がり、お客様が最初にイメージしていた物と変わってくるんですよ。でも、カタチになったものはまさしくお客様だけのイメージの世界なんです。家と違って、自分だけの居場所なので、私たちが、ちよつと刺激するとワガママが出てくるんですよ。そのワガママこそ、コンテナハウスでないと実現できない事です。だって、奥さんや子どもの事を気にすることが無いんですから。私たちはワガママになることにちよつとお手伝いしているだけです」。



お問い合わせ：株式会社フォーバイシー
静岡県浜松市西区雄踏町山崎3400-380
TEL.053-489-3113 mail:info@4xc.jp
※CONTAINER BASEには常駐のスタッフがいないため、必ず事前にご連絡をお願いします。

CONTAINER BASE レンタルスペース事業
運営・管理:エンシュージアスト編集部
(キーウエストクリエイティブ内) 担当:石塚
TEL.053-450-0222 mail:container_base@key-w.com

「最初は普通にコンテナを並べるだけのつもりだったのですが、プランニングをしているうちに、妄想が先走ってこんな感じになつてしまつたんです(笑)。後付けできれいにまとめるなら、『コンテナハウスの可能性は無限なんです』っていうことを伝えたかったということ。…」と佐野。続けて、「実はこの展示場、お客様に見てもらうだけでなく、レンタルスペースとして使うことが出来るようにしました」。

開けば、この秋からJONGDAE(再起動)でイベントや展示会などの会場としても使えるようにすること。コンテナハウスって自由だから、持つことが全てではなく、「使う」楽しみ方もある。仲間内のパーティーやバイクミーティングなんかに使ってもらいたいし、結婚式をやる人が現れてもいいかな。自由だから要相談でいろいろなに使うてもらいたいですね」

文字通りコンテナは何かを始めるきっかけ(ベース)としては最高の素材だと思つた。



代表の佐野洋一郎氏。彼もまた、いつまでも少年の心をもったオトコである。

株式会社フォーバイシー
「浜松市西区」
コンテナハウス

コンテナハウスの展示場
「CONTAINER BASE」オープン。



外壁をモルタルで固めた雑貨作家のアトリエ。家族とのほどよい距離感をデッキでうまく作っている。

自分だけの隠れ家がほしい。



サイクリング

フィッシング



モータースポーツ

スキー



サーフィン

ワーク

アウトドアスポーツには道具を積んで移動するトランポが欠かせない。オグショーでは、サポートアスリートの意見を取り入れ、それぞれのジャンルに最適なレイアウトや装備の開発を行っている。そのたゆまぬ進化と革新性が業界を牽引している。



日産の『NV350トランスポーター』は全て浜松のオグショーファクトリーで内装施工される。車両の仕様決定からカタログ撮影に至るまで、メーカーとともに二人三脚で開発にあたった。名実ともに日産とオグショーのコラボレーションから誕生した。



Enshu Siast's Choice!

Made in 遠州。プロが選ぶ移動基地。

有限会社オグショー「浜松市東区」
オグショー・トランスポーター

プロアスリートがこぞって選ぶ
トランスポーターのプロショップ

浜松インターにほど近い、浜松市東区下石田町にある「オグショー」。店の前に何台ものトランスポーター（トランポ）が並んでいる姿を見た読者も多いはずだ。オーナーはモトクロス国際A級ライセンスを持ち、全日本ジュニア250ccクラスのチャンピオンを獲得した小栗伸幸。現在も海外ラリーなどへチャレンジし、上位入賞する伝説的なアスリートでもある。そんな彼だからこそ、プロアスリートがトランポに何を求めるのか感覚的に分かる。モトクロスにとどまらず、サーフィンやカヤック、釣りなど、アウトドアを舞台に活躍するあらゆるプロアスリートがトランポを愛用している。

プロアスリートだけでなく、オグショーに熱い視線を送る自動車メーカーがあった。日産自動車は、「NV350キャラバン トランスポーター」をオグショーと「ヨポレーション」販売することを決めた。標準でフロアの床張り（合板+コンリウム仕様）を装備し、アウトドアのハードな使用に耐える。さらに、オプションでベッドやサイドボックス、アップバーレルなど、トランポに必要な装備を全国の日産ディーラーで注文できるのも魅力で、アウトドアをフィールドに本気で遊ぶ大人たちの支持を集めている。日産ディーラーで買えるトランポといふことは、品質もメーカーと同等のクオリティを求められる。そうした厳しい条件を満たし、日産のパートナーとして選ばれたことは、オグショーが「地方のカスタムバーツメーカーではないことを証明している」。



創業者の小栗伸幸氏は自身も現役アスリート。2017年にはラリーモンゴリアを市販車CRF250RALLYでクラス優勝。現在も第一線で活躍するアスリートだからこそ、他のアスリートの要求を感覚的に理解できる。アスリート目線の開発力がプロに支持される所以である。

外装から内装まで
自由にカスタム
伊勢谷友介氏の愛車を手がける



自分らしさを大切にする職業の一つ、俳優。ファッションや、振る舞いのひとつひとつが自身自身をつくりあげている。俳優・映画監督、さまざまな社会活動を行うリバー・プロジェクトの代表でもある伊勢谷友介氏が、自身の愛車に選んだのがオグショーでフルカスタムしたハイエースだ。VWのヴァナゴンの外装をイメージし、黒色のボディにミッドカーキでラッピング。趣味であるバイクを積み込めるスノーボードに出かける際には車中泊できるフルフラットベッドを搭載。100年以上の歴史を持つ老舗ブランド、ヘンドルソン製の生地を採用した内装がオシャレ。確かな審美眼を持つ伊勢谷氏に相応しい、唯一無二の愛車が完成した。

海、山、湖がある豊かな自然と
バイクの街がオグショーを育む

オグショーがある遠州・浜松は、遠州灘や浜名湖、天竜川に囲まれ、サーフィンやカヤックといったマリンスポーツが盛ん。また起伏に富んだ山間地ではオフロードバイクやMTB、溪流で釣りなどを楽しむことができる、遊びの聖地ともいえる恵まれた場所。また、敗戦間もない昭和22（1947）年、本田宗一郎が日本で初めて国産オートバイを販売。昭和20年代半ばになると、ホンダスズキをはじめ30社以上のバイクメーカーがひしめき、技術開発にしのぎを削ったモーターサイクルの街でもある。さまざまなアクティビティを楽しめる気候、先人から受け継いだ確かな技術を有するものづくりの街浜松に、プロアスリートや企業が信頼を寄せるオグショーが誕生したのは、ある意味で必然だったのかもしれない。

オグショー/トランスポーター



お問い合わせ：
有限会社オグショー
静岡県浜松市東区下石田町1841-1
TEL.053-421-0122
<http://www.ogushow.co.jp/>



遊びの聖地とも言える遠州で作り続ける。プロが選ぶ道具としての高い機能性がオグショートランポの本質である。



伊勢谷氏以外にも多くの著名人がオグショートランポを選んでい。その人気は全国随一と言っても過言ではない。



Leather For Real Riders

タイムレスなプロダクトの魅力

「タイムレス・ティンバー・メイプル」と呼ばれる木材がある。アメリカ5大湖の湖底に70～250年眠っていた木材を、引き上げ乾燥させた銘木で、その木材を使ったエレキギターは圧倒的な【鳴り】を備えているという。人工的に生長させた木材と違い、ゆっくり自然の中で年輪を重ねた材なので、木目が詰まり素直で均質なため、本当の木の鳴りを獲得しているという。

ホースシューベンドの森本オーナーが所蔵する1950年代後半に作られたヴィンテージのLanglitz Cascade。新品のジャケットと並べてみても、とても数十年が経っているとは思えない艶やかなレザーの表面。ライディングでついた袖のシワの一本一本がわずかにリアルな時を感じさせる。1947年の創業以来、自然豊かなオレゴン州ポートランドの本社兼工場にて、現在でも1日6着、というほぼ手作りによる少量生産が頑なに守られているという。小さなカスタム・メイド・ショップゆえの“融通の効いた丁寧な仕事ぶり”が現在に続く「ラングリッツ」の名を輝かせる。ラングリッツの最大の魅力は「革厚や細かい仕様まで、すべてがオーダーメイドできること。だから一人一人のライダーにジャストフィットする最高の着心地を、ずっと長く味わえる」と語る森本氏。

森本氏の愛するものは、自身と同じ年月を重ねてきたヴィンテージ品が多い。Cascade、デュオグラインド、etc…。いずれにも共通するのが「タイムレス」なモノの魅力。言い換えれば永く愛せる「本物」であること。そんな本物を求める人はぜひホースシューベンドを訪ねることをお勧めしたい。



HORSESHOE-BEND

Langlitz Leathers Dealer, WHITE'S BOOTS, Vintage Harley

ホースシューベンド

静岡県浜松市北区細江町気賀1769-1

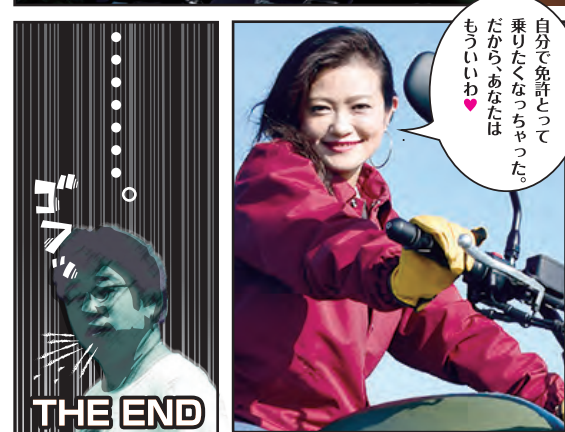
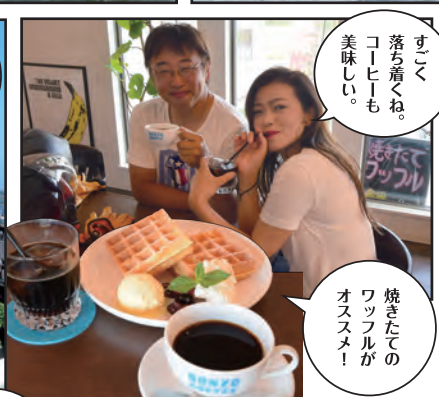
TEL 053-525-9985 営業時間 11:00～19:00 水曜定休

Langlitz Leathers

Cascade ¥298,000 (+Tax) ~

※画像のVintage Cascadeは参考商品

いつもと違うバイクに……憧れの……久しぶりに……レンタルの理由はさまざまだが、このサービスを有効に使うときっと楽しい。



遠州地区レンタルバイクショップ情報

ヤマハレンタルバイク(ヤマハテクニカルセンター内)
掛川市富部28 TEL.0537-24-5197
<https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/tc/rental/>
ヤマハが運営する二輪免許専門の自動車学校内のレンタルバイクサービス。

ペペモーターサイクルス

浜松市東区北島町1409-5 TEL.053-581-7685
<http://www.pepe-motorcycles.com/rental>
 オリジナルカスタムの250TR(カワサキ)、セロー250モタード仕様(ヤマハ)
 シグナスX・125cc(ヤマハ)の3台が稼働中。



今回の
彼女役

mitsunoshima jam artist
Ayako Agehari

手作リジャムの「ミツノシマ」主宰。バイク経験はほとんどなかったが、今回のタンデム体験でかなり興味を持ったとのこと。カップルという設定で…という編集部が無茶な注文にも笑顔で応えてくれた。

<https://www.facebook.com/Mitsunoshima/>

取材協力

レンタル819浜松(タイラレーシング株式会社)
 浜松市中央区高丘西1-12-7 TEL.053-414-8119 <http://www.tairaracing.co.jp/rental/>
 営業時間:10:00～19:00 定休日:毎週火曜日/毎月第2・第3水曜日
 国産車のみならず、モトグッチ、MVアグスタなどの外国車もレンタルできる。用品類のレンタルもあり。

T-flow.Water Sports Shop

浜松市北区三ヶ日町大崎 1991-4 TEL.053-526-0806 <https://t-flow376.jimdo.com>
 営業時間: 日の出～日没 ※お薦めのタイムスケジュール 9:30am集合 不定休
 湖岸沿いにお店があり、目の前でさまざまなウォータースポーツを楽しむ事ができる。

BONZO COFFEE

湖北省吉美961-104 TEL.053-528-7686 <http://www.bonzo-coffee.jp/>
営業時間:8:30～18:00 定休日:毎週水曜日/第1・第3火曜日
近き湖沿いの国道301号線に面し、愛知県方面からの来客も多い。駐車場10台・サイクルラックも完備。

衣裝提供

株式会社デイトナ
周智郡森町一宮4805 ☎0120-60-4955 <http://www.daytona.co.jp/>
新製品のインカム「DT-01」、ヘルメット、ライディングジャケット、グローブの衣装提供。

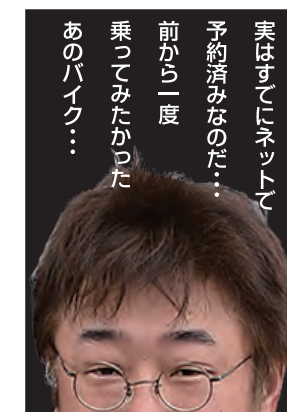
♂ OK!それなら
♀ バイクでお出かけしてみたい!

**バイクを借りて
パークーリングに
行こう!!**

浜名湖編

<あるカップルの休日>

□ レンタルバイク体験レポート



カッコよく乗るなら、イタリアンスタイル

タイラレーシング
溝垣元紀さん

今オススメのMV AGUSTA ブルターレ800RRは、175kgという軽量さとは反対に140馬力という力強さがあり、爽快に走りたいという気持ちにしてくれます。大胆なデザインからは、「カッコよくなきゃ乗らない」そんなイタリア人の気概を感じます。今回イタリアンスタイルに合わせたDAINESEのジャケットはプロテクションとデザイン性が両立されていて、ツーリングがより楽しく安全になります。ヘルメットは平家の家紋をモチーフにした最新のタイラレプリカモデル。社長の平忠彦が実際にツーリング、雑誌記事で被っている実物は、店内にて展示中です。試乗も気軽に出来ますので、リラックスしてお越しください。

Tops / Dainese Toga72
<http://www.tairaracing.co.jp/>



BRUTALE
800RR



Tiger
800XC

ずっと乗っていたくなる、
三気筒エンジンの魅力

R nineT
Racer



誰もが振り返る！
注目度の高いスタイリング

DATZ 浜松

和田 沙矢加さん(左) / 富田譲二さん(右)

旅行が好きな和田さんは「BMW乗りの方は通な方が多いですね。美味しいカフェ情報や素敵な風景写真など、お話も上手で楽しいです。」「最初に買った大型バイクがS1000R。その圧倒的な速さに痺れましたが、すぐにまた乗りたくなりました。」「という富田さんは若干19歳。バイクが好きでたまらなく、この世界に飛び込んできた。R nineT Racerの魅力を知ると「スタイリングの注目度がNO.1。自分が人気者になった気分を味わえますよ!」

Tops / Venture Shellジャケット
<http://www.datz-bmw.jp/outline/hamamatsu/>

カスタムペイントで バイクが新しく生まれ変わる

いろどり屋
板倉昌平さん

タンク・フレーム等の外装からヘルメットまで、バイクに関わる補修・レストア塗装やカスタムペイントを請負う「いろどり屋」を主宰する板倉さん。写真左手のヴィンテージヘルメットはご自身のコレクション。ヴィンテージテイストのペイント(写真右側3つ)も得意分野だ。「フルペイントすることで、今まで乗っていたバイクが「新しいバイク」に生まれ変わる。新たな気持ちでバイクと向き合えるのが一番の魅力かな。」「カスタムペイントは今も昔も究極のカスタマイズ。オリジナルスタイルを追求する方は一度相談されてはいかがだろうか。

<https://ameblo.jp/irodoriya10/>



アビーロード
乗松勇斗さん(左)
/ 水野透湖さん(右)

いつでもどこでも手軽に音楽を聴ける時代ですが、あえて今レコードで聴いてほしいです。アビーロードでは、ロックからジャズ、歌謡曲までオールジャンル揃っていて、数としては約10万点のCD、レコードがあります。若い方でもお気に入りの一枚を探してもらい、アナログの迫力を知ってもらいたいです!今回、バイクにちなんでジャケットにバイクがのっているレコードを選びました。ジャケットで選ぶことも、レコードの楽しみの一つなのでぜひ気軽に来てください。

<http://www.abbey-cd.com/>

FILL IT UP

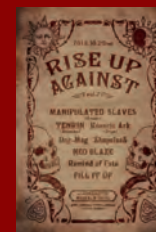
Vo.CHOMO / Gt.HIRO / Ba.NeNe / Dr.JUN

浜松を拠点に活動している「FILL IT UP」。バンド名は直訳すると「ガソリン満タン」。自分たちの演奏でみんなの心も満タンにしたい!という思いを込めています。昨年1stアルバム「RISE OR FALL」をリリース。中でも「CHARGE」という曲はMVのクオリティも高く、YouTubeでぜひ見てもらいたいです(制作:Design Work INSIST)。アルバムリリースライブは全62公演を決定。全身全霊のライブを、ぜひ一緒に楽しみましょう。

<https://www.fillitup-official.com/>



全身全霊!一緒に楽しみましょう



「RISE UP AGAINST vol.2」
at 浜松 Mescaline Drive

2018.10.20(Sat) OPEN17:30 START18:00

・前売り/¥1,000 ・当日/¥1,500 (+1drink/¥500)

MANIPULATED SLAVES(大阪)、天燐(静岡)、Rosario Ark(滋賀)、
Dog-Mag、Shapeless、NEO BLAZE、Remind of Fate、FILL IT UP

ロック好きにはたまらない!お宝がいっぱい

マンブルズ
大山湧希さん

マンブルズはロックTシャツをメインに、アメリカン雑貨や店長オススメのTIKIグッズまで、幅広く個性的な商品を揃えています。中でもロックTシャツは、王道のロックからメタル、パンク、ブルースまで、UK・US問わず様々なジャンルを直輸入、映画モノも充実しています。私も小さい頃から父の影響でロックが大好きで、ロックファンなら絶対楽しいお店です。ちょっと怪しげな雰囲気もありますが、見るだけでも気軽に遊びに来てほしいね。

<https://www.mumbles.jp/>



ミュージック アンド
モーターサイクル・リーダーズ

バイクと音楽のまち浜松で、
エンシュージャストが
イチオシのお店や人に注目。
バイク、音楽のリーダーたちが語る!

ハードロックを好きになるきっかけになりたい

NEO BLAZE

Vo.Taka.Syuu / Gt&Cho.Ryota / Ba&Cho.Ke-to / Dr.Iyuga

2015年に結成され、2017年に現在のメンバーになりました。もともとハードロックが好きで、ハードロックを再燃させたいという思いから、NEO BLAZE(新しい炎)と名付けました。ハードロックという強い芯と、新しいものを組み合わせ、僕らの演奏で、誰かの好きになるきっかけになっていきたいです。日常を全て忘れて、楽しめる時間を作りますので、ぜひ生の音を聴きにきてください。

@NEONEOBLAZE @neo_blaze_official
9月15日(土) Hamamatsu Rock Summit vol.117(H.R.S)





PROFILE
静岡県浜松市出身。浜松の路上で歌い手として産声をあげ、全国路上LIVE放浪後、FMでのラジオパーソナリティを経て上京。ソロ、ユニットに関わらず、圧倒的な熱量で、見る人のライブ観、人生観をも揺さぶるスタイルとして、インディーズライブシーンで注目されている。
http://kikimataku.com/



LIVE INFO
2019 4/27 山作戦 千人ライブ・ヤマサク春のセンまつり (SAT)
グランシップ中ホール「大地」OPEN/17:00 START/18:00
詳細は順次ホームページでお知らせ <http://www.yamasakusen.jp/schedule/>



山作戦さんの情報はこちらから
<http://www.yamasakusen.jp>
YAMASAKUSEN FRESH!で好評配信中。
配信は不定期ですので「山作戦60」をフォローしてください。
<https://freshlive.tv/yamasakusen>

聞間拓の

この前も宇都宮のミュージシャンを招いたライブがあった。聞間拓のライブは年に何度もやってきたけど、より濃くて、面白いライブをやった。浜松を盛り上げたいと思ってます。

すでに月一で「交差点」をテーマにライブを企画しています。全国を回る中で知り合った、各地の実力派のミュージシャンと、浜松で頑張っている仲間をブッキングしたライブです。そこでお客さんも巻き込んで、お互いの音楽や気持ちの交差して活動の場や表現が広がればいいと思うし、気軽に溜まり場みたいになんか松に寄ってもらえるような雰囲気を作りたいですね。

聞間拓とタマキングで10/1〜10/31まで挑戦する「タマタク47都道府県ダーツの旅」を開催するに当たったの活動費をクラウドファンディングで募ったところ、なんと目標金額の3倍を超える金額が集まった。行き先を決めた時の模様は動画で見ることができる。
<https://youtu.be/iS389bblbmY>

あと、タマキングって仲間とツーマンでやってるイベントで「タマタク47都道府県横断ダーツの旅」と銘打って、ステージ上でルーレットにダーツ投げて、すごいランダムに決められた順番で全国をまわるという無謀なツアーをこの秋やります。いろんな人から「バカだね」でも拓たちがやりたいならやってみたいばい」という素晴らしいエールをいただいています(笑)。

これからもどんな外にも出ていきますが、浜松に帰って来たからには「浜松らしい」、「浜松だからできること」それってどんなことだろうと考えながら参加してくれたみんなが楽しめる企画や熱い音楽を届けていきたいと思っています。



浜松を音楽の交差点にしたい。

浜松の路上が原点。そこから音楽やるなら中央だろうと、浜松を出て東京に住みながら都内で自らのライブイベントを主催したり、ライブハウスを回ったりしてました。ちょっと前までバイトしながらだったから、あんまり遠くへ行ったり、長い旅には出られなかったんだけど、やっぱりエージさんのようにいろんな土地に行って唄ってみたいって、音楽一本でやっていこうと決めた5年前くらいからひとり長いツアーをするようになったんです。そうすると、別に東京に住んでなくてもいいかなって感じになって、7年やって来たピアノと組んでたユニットの解散を機に17年ぶりに拠点を浜松に戻すことにしました。

これまで浜松でライブは年に何度もやってきたけど、より濃くて、面白いライブをやった。浜松を盛り上げたいと思ってます。

LIVE INFO
10/8 MIRAI NOTE Presents I'm back!! (MON・体育の日)
LiveHouse浜松窓枠
OPEN・START/未定 入場無料(ドリンク代別途500円)
出演者/FRONT LINE BAND, A-CO, Heart Cresc., WILL, ハリィさんとスライカくらぶ, Monday Dirty Jokes 他

(問) LiveHouse浜松窓枠 浜松市中区板屋町100-10
Tel. 053-451-3035 <http://madowaku.com>



KAYOKO SAHARA
エンシュージラストの助っ人スタッフ。その働きぶりから「金のサハラ」の異名を持つ。

俺の場合は、ミュージシャンとして自分のやりたい音楽を突き詰めていったら、今のツアームュージシャンというカタチに行き着いたのかな。メジャーでのアイドルみたいな扱いは嫌だったし。バンドでやるのも楽しかったんだよ、でも、大きなホールやハコ(ライブ会場)のことでもやっても、関係者だけの満足で終わっちゃうっていうか、お客さんがたくさん入ったね、CDやグッズが売れたねって数字だけなんだよ。自分の音楽を聴きにきてくれるお客さんとの接点が薄いままだって、感じてしまったんだよね。音楽業界を取り巻く環境や市場も時代とともにどんどん変わってきたし、今はインターネットで動画上



俺の場合は、ミュージシャンとして自分のやりたい音楽を突き詰めていったら、今のツアームュージシャンというカタチに行き着いたのかな。メジャーでのアイドルみたいな扱いは嫌だったし。バンドでやるのも楽しかったんだよ、でも、大きなホールやハコ(ライブ会場)のことでもやっても、関係者だけの満足で終わっちゃうっていうか、お客さんがたくさん入ったね、CDやグッズが売れたねって数字だけなんだよ。自分の音楽を聴きにきてくれるお客さんとの接点が薄いままだって、感じてしまったんだよね。音楽業界を取り巻く環境や市場も時代とともにどんどん変わってきたし、今はインターネットで動画上

LIVE INFO
11/23 「幸せを運ぶ男」高田エージ Thank You Japan Tour 2018 (FRI・勤労感謝の日)
WATTS(三ヶ日) OPEN/17:00 START/18:00 2,500円(1D付)
出演/高田エージ、聞間拓、今野邦彦

(問) WATTS 浜松市北区三ヶ日町大崎6-4の6
Tel. 053-526-2261 <https://hamanako-watts.wixsite.com/index>

ツアームュージシャンという生き方って？

相棒の楽器を片手に、旅の先々のライブハウスや演奏可能なお店、時には神社仏閣でも唄う。観客の動員数や音へのリアクションが自らの音楽の評価になるリアルでシビアな毎日。体温さえ感じられそうなほんの数メートル先で奏でられるメロディは、テレビやラジオで観たり聴いたりだけが音楽じゃないことを教えてくれる。…なんてね。簡単に言えば、旅しながら音楽活動するのが文字通りツアームュージシャンなんだけど、なんでそのスタイルで音楽をやっているのが大事なんだと思う。



PROFILE
17歳で男性2人ユニット「DUO」でフォーライフからデビュー。その後SUPER BAD、エージ&テツ、SUPER Gooooood!などバンド、ユニットでの活動を経て2003年から全国をソロで回るようになり、現在も旅をしながら年間120〜150本のライブをこなす。
<http://www.supergooooood.com/>

げたり音源を配信したりってできるけど、やはり俺はライブにこだわりたい。情報の発信方法としてネットは使うけど、初めて唄う場所では「お前誰だよ？」みたいな雰囲気からはじまって、唄を聞いてもらって、仲良くなってる最後に一緒に「YEAH!!」とかやって(笑)。それを繰り返してうちにできた仲間みたいなお客さんが、全国で俺を待っていてくれる。これって最高じゃん。それに同じ曲でも唄う場所や聞いてくれるお客さんによって伝わり方が違うのがわかるんだよ。それって自分の音楽を届けるっていう実感そのものだよな。

もちろん、浜松もそんな大切な場所の一つ。みんなが待っていてくれるから毎年必ず春と秋にはライブしに来てる。俺、再来年は音楽活動40周年だしね。ますます頑張るよ！これが俺のミュージシャンとしての生き方だ！

昨年リリースしたアルバム「いいことあるかもしれないよ」は初回プレスを半年で完売。そのほとんどがライブ会場での手売り。「買ってくれる人に直接ありがとうっていいながら渡してる」それもあり「ライブありき」だ。

LIVE INFO
9/1 花野 ワンマンライブ -地元編- (SAT)

浜松Pops倶楽部
OPEN/11:00 START/11:30
大人3,000円、学生2,000円、子供1,000円
出演/花野、サポートキーボード：磯中ゆうき、スペシャルゲスト：なかでめぐみ(spoon)

(問) Pops倶楽部 浜松市中区田町331-9マルゲンビル6F
Tel. 053-525-7383 <http://www.pops.sakura.tv/>

浜松発・新しいストリートライブのカタチ SSMって何？

SSM(サイレント・ストリート・ミュージック)とは、無騒音路上音楽を実現するシステム。ミュージシャンの演奏をリアルタイムにヘッドフォンで聴くことで、周りの音を気にせずに高音質で迫力のある演奏を聴くことができる。また、音が干渉しないので隣接したブースで複数の演奏も同時進行で行える。



<HP> <https://silentstreetmusic.jimdofree.com>

浜松から世界に向けて発信スタジオペタって何？

2014年からミュージシャン、アイドル、芸人、俳優など、地元浜松で活動する方々の宣伝活動をお手伝いしている。現在は、浜松在住の女性シンガー「Ao」や、浜松発のアイドルグループ「playa☆pino」(「Ao」のネット番組や、地元企業を紹介する番組「はままつタウンTV」などの配信や、ライブイベントを開催している。
浜松市中区板屋町10217 タキビル2F
<http://peta.cm>



Ao <twitter> @aosongforyou34



playa☆pino <twitter> @idolproject2018

What's Natural Sound?

2018年夏、ヤマハ本社内のオーディオ試聴室「Bスタジオ」。「最新オーディオシステムの再現力と魅力に触れる試み」に“音”を生業とするプロフェッショナル4人が集結。楽曲を創造し表現するアーティスト、それを再生するオーディオシステムの開発者、そして、製品を販売するオーディオショップ店長が、それぞれの立場でオーディオとスピーカーの音世界を体感し語り合う、というちょっと贅沢な試聴会が行われた。



いつでも、どこでも、私らしく。

お気に入りのスタイルで、心は音楽に満たされる。



ワイヤレスヘッドホン
HPH-W300



ワイヤレスイヤホン
EPH-W53



カナル型イヤホン
EPH-200

○お問い合わせは、お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口 ナビダイヤル 0570-011-808

※上記番号でつながらない場合: 053-460-3409 営業時間: 月～金 10:00～17:00 ※土日祝及び弊社指定休日除く <https://jp.yamaha.com/av/>

ヤマハ株式会社



鈴木誠治

SEIJI SUZUKI

ツバキオーディオ(浜松市中区)
浜松で唯一のオーディオ専門店店長。物心ついたときから音楽に囲まれて育つ。店では一日中、気になるサウンドやお客さんが持参するCDを試聴したり、さまざまなオーディオ相談に応じたりしている。(①中島みゆき・②J-POP、ユーミン、竹内まりや)

いよいよ最上位モデルのアンブと本日の主役、NS5000スピーカーを組み合わせた試聴である。マイルステイビスの『So What』をCDとハイレゾの音源で比較した。
畑中「先ほどの音の形というイメージから、今度はマイルスやビルエヴァンスが演奏している姿が見えますー」
熊澤「トランペットの艶やかさ、豊かなシンバルの金属音が手に取るように伝わってくるでしょう。音源のきめ細かさをより高く再現していることが、畑中さんのイメージをより具体化しているのだと思います。」
鈴木「では僕が店でよく聴いているウィリアムス浩子と中島みゆきを聴いてみてください。」
畑中「中島みゆきを聴いてみてください。」
熊澤「ギターのボディが鳴る音やボーカルがナチュルで温かい。」
鈴木「ウィリアムス浩子は、音楽スタジオではな

音楽本来の臨場感を 甦らせる伝統と革新の技術

色付けをしない自然な音の再現こそ、ヤマハの音づくりの信念であり、昔も今も変わることはありません。」

普段は製品の検査に使われる試聴室、音楽スタジオよりも反響が少ないオーディオ専用ルームである。ここに、入門機からハイエンドまでのシステムが、今日のために用意された。
熊澤「今回は、いつもオーディオに接している我々や鈴木さん主導でなく、唯一、音楽表現者の畑中さんに率直な感想をいただいて、談義していきたい。真ん中の席へどうぞ。」
畑中「私、普段はヘッドホンが車のカーステレオで聴くことがほとんど。レコーディング以外では、実はスピーカーを前にしてちゃんと聴くということはありませんが(笑)。」
手始めに、WX-010/030とネットワーク接続したタフレット内のタンズミュージックをMusicCast CONTROLLERアプリで再生した。コンパクトなボディからビートに乗った歯切れの良い歌声が流れ出くる。
畑中「イヤホン・立体的に聴こえるし、これで十分。机に置きたいです。」
小菅「この製品は、普段スマートフォンで音楽を聴いている人に、ヘッドホンを外して、試してもらいたい入門機として開発しました。小さな音でも音楽を楽しめる設計です。」



小菅克真

KATSUMASA KOSUGE
ヤマハ株式会社 音響事業本部 開発統括部
AV開発部 機構・音響グループ
幼少期から母親の聴くクラシックに親しみ、音楽のある生活が必然となる。プライベートではロックバンドに所属、家族(子ども)の影響で日本の楽曲も聴く。本日試聴のWX-010/030の開発者。(①オアシス・②JAZZ、奥田民生、斉藤和義)

Bluetooth®スピーカーで 音楽を気軽に楽しむ



「ナチュラルサウンド」とは何か——。
今回の試聴で、その答えが
ハッキリ見えてきた。



常に最先端の技術で卓越した製品をリリースするヤマハ。スペックが向上してもデザインやルックスが踏襲されるのは、完成された機能美の証である。永遠不滅のナチュラルサウンドとともにそのエバグリーンな佇まいが、ヤマハユーザーを掴んで離さない。



音の形が見えてくる？ ナチュラルサウンドの妙



畑中摩美

MAMI HATANAKA
シンガー&ソングライター
高校時代、音楽に自己表現を見出し、活動をスタート。東京で音楽キャリアを積み、デビュー。アルバム2枚をリリース。現在、浜松市を拠点に、週一のラジオ放送、映画出演など活躍の場を駆け、アーティストとして活動中。(①クイーン・②BAKU, ASKA)

熊澤「次は、小型スピーカーとネットワークレシーバーの組み合わせです。CD相当の音源でエリッククラプトンとシンディ・ローパー・ハイレゾで綾戸智恵を聴いてみましょう。」
アコギの指使いが見えるかのような繊細な響き、いままで聴いていたくもった声はなんだったのかと思えるほど凝刺と歌うクラプトン。そして、豊かに年齢を重ねたシンディ・ローパーの表情や姿までも浮かんでくる。

さらに、ハイレゾで聴くピアノの弾き語りには息遣いとピアノのタッチまで……。
畑中「何か音の形がはつきり見えきて、奥行を感じます。特にボーカルはリアルです。」
熊澤「音の形が見える……おもしろい感覚ですね。実は、人の声の再現が一番難しいのですが、そこに注力することでヤマハ伝統のナチュラルサウンドを実現しています。」

畑中「あつ、ヤマハさんのスピーカーについてのNSってナチュラルサウンドの略なんですね！」
熊澤「そうです。ナチュラルサウンドのアプローチは、ヤマハが電気オルガンを開発する際、オルガンの生音をスピーカーから忠実に再現して鳴らそうとしたことに始まっています。文字通り、

く、オーディオルームで録音して生活の中にある自然な雰囲気まで再現しようとしています。」
畑中「彼女が求めるナチュラルサウンドなんですね。その音をこのスピーカーは再現できているんですね。」
小菅「中島みゆきの『時代』は不変性を持った名曲ですね。日本語だからニュアンスとか情念がよりストレートに伝わってきます。思わず一緒に歌いたくなるほど心地よく鳴っています。」
畑中さんは、自身のCDを持参して聴かせてくれた。

熊澤「かっこいいじゃないですか。シンフルにゼンス良くアレンジされたギターやピアノのアンサンブルはナチュラルサウンド向きかもしれません。」
畑中「スゴイ、こんな説得力ある音になるんだ、みんながこのスピーカーで聴いてくれるといいなあ(笑)」

マニアだけの世界を、 すべての音楽好きに解放

さてひとりの試聴を終えたところで、最後に生で歌ってもらうというワガママを畑中さんをお願いした。オーディオとの比較という実験でもある。



熊澤進

SUSUMU KUMAZAWA

音響事業本部 事業統括部
AV事業推進部 AV商品企画グループ
中学時代、ロックに心奪われ、バンドを組み自身のサウンドを追求するうちに音響の世界へ。技術畑から現在は商品の企画開発を統括する立場で製品づくりに携わる。今回試聴したA-S3000、CD-S3000の開発を担当。(①レイニー・②ブルース、ソウル)

※参加者プロフィール：… ①出会った音楽 ②好きな音楽

AUDIO SYSTEM

音楽とともに在る幸せ。

聴く喜びを再生するヤマハHiFiオーディオ。



SYSTEM - 1

ワイヤレスストリーミングスピーカー

WX-010/030

好きな音楽を家中どこでも好きなとき楽しめる MusicCast®のフル機能を搭載したワイヤレススピーカー。Bluetooth®やAirPlayも選択でき、さまざまな場所に置いて自由に音楽を楽しめます。

試聴曲: R.I.O [Shine On]
Diana Krall [S Wonderful]

SYSTEM - 2

ネットワークレシーバー
R-N803

ドイツをはじめとする欧州のピュアオーディオアンプ市場でトップクラスの評価を得るネットワークレシーバーシリーズの最上位モデル。

スピーカー
NS-B330

ハイレゾ対応の新開発ユニット群とウェーブガイドホーンを採用。ナチュラルな聴き心地と緻密な情報量のブックシェルフ型HiFiスピーカー。

試聴曲: Eric Clapton [Blue eyes blue] Cyndi Lauper [At last] 綾戸恵恵 [When the world turns blue]

SYSTEM - 3



プリメインアンプ A-S3000

ヤマハHiFiオーディオの血統というべき高音域の伸びやかさと中音域の温もりを再現するヤマハプリメインアンプの最上位モデル。



CD プレーヤー CD-S3000

S3000シリーズの設計思想を音の源流側から実践したUSB DAC機能搭載SA-CD/CDプレーヤーの最上位モデル。



スピーカー NS-5000

名器NS-1000Mの伝統を継承する30cm3ウェイブックシェルフ型次世代スピーカー。ヤマハナチュラルサウンドを21世紀に問う重要機。

試聴曲: Miles Davis [So what] ウィリアムス浩子 [Quiet night of quiet stars]
中島みゆき [時代 (リマスター版)] 畑中摩美 [トゲノハナ・真夜中の旋律]

MAMI HATANAKA

地元、浜松市を拠点に活動するギター弾き語りシンガーソングライター、畑中摩美。



アルバム『一粒のワタシ』(ポリスター)でデビュー。2ndアルバム『白い花が秘めるもの』(ブローウィンドレコード)では、名プロデューサー・鳥山雄司氏を迎え、新たな楽曲や名曲のカバーに挑んだ。K-mix「畑中摩美のまみの「す」」のパーソナリティ担当、浜松舞台の映画「ハローゼア」(2015)出演、サカイ引越センターTVCM「ソング」「あなたと私のいつものなはし」制作など幅広く活躍中。

畑中摩美CD読者プレゼント 5名様

畑中摩美最新CD「トゲノハナ」を抽選で5名様にプレゼント。
「郵便番号・住所・氏名・電話番号・本誌の感想」を明記の上、ハガキまたはメールで下記「エンシュージヤスト編集部」までご応募ください。
応募締切/9月30日必着
ハガキ/〒430-0928 浜松市中区板屋町101-22
小川ビル3F-5 (有) キーウエストクリエイティブ内
メール/enshusiast@key-w.com

最新アルバム「トゲノハナ」

近畿司法書士会連合会CMタイアップソング「愛しい気持ち」、ホテルセンチュリー静岡プライダルフェアCMソング「レディバード」ボーナストラックはまつ冬フェスin machi テーマソング「星の空」。
・ライブ予定 : 9/23 (日) 浜松cafe Apollon、9/30 (日) Go Around Japan
詳細は<https://www.hatanakamami.com/>
クリエイターズサイト「note」にて、新曲、未発表曲、詩、写真集、配信・販売スタート。 <https://note.mu/hatanakamami>

TSUBAKI AUDIO

らせん階段を上がるとそこは「別世界」?
圧倒的な品揃えを誇る浜松唯一のピュア・オーディオショップ。

1Fの家電フロア中央から伸びる、らせん階段をのぼると別世界が広がる。最近では都内でも数少ない、浜松市では唯一のオーディオ専門店ソバキオーディオ。HiFiからAV、アクセサリまで、実際に店頭で試聴して選べる。所有の愛器やシステムの音質改善の相談にも対応。これからオーディオを始めたい方でも気軽に立ち寄れる雰囲気嬉しい。こまめに開催されるオーディオ試聴会に、まずは参加してみよう。

浜松市中区山下町157
TEL.053-471-8181 <http://www.tsubakiaudio.co.jp/>



ENSHUSIAST MUSIC SUMMIT 2018



左右をスピーカーに挟まれた空間で、まるで隣人に語りかけるようにそっと唄ってくれた畑中さん。その歌声は間近で聴きあった3名の心の奥に、すっと染み込むように響いていたようだった。

すべての音楽好きに、
オーディオの楽しさを伝えたい。

モニターも反響もない歌いつらい試聴室での弾き語り。快く引き受けてくれた。

切なくも美しいバラード調の『愛しい気持ち』が、生ギター一本、アルペジオでしつとりと歌いあげられた。

熊澤「ありがとうございます。やっぱり、生音には勝てませんね(笑)。でも、この生の音に近づぐために、我々は研究を重ねている訳なのです。オーディオの開発者には楽器の経験者も多く、ドラムをやっている者はスネアの音が、ピアノをやっている者はEの音が違うね、など開発者が集まって再生される音の細部まで議論し音づくりをしています。」

小宮「この部屋で小さな音まで聴こえるのが生の強さです。スピーカーの課題は、小さな音が届きにくいこと。その解決が製品化につながります。」

鈴木「生音は、音楽がずっと体に入ってきてますね。歌い手の気持ちや感情がダイレクトに伝わるからではないでしょうか。オーディオ再生の楽しみはそのあたりにあると思います。」

熊澤「メーカーとしてその楽しさを伝える責任を感じています。今年から「ライブ&試聴会」という新しいイベントを企画して、いろんな人に聴いていただく活動を始めています。ツバキオーディオさんでも開催しました。オーディオマニアに限らず、多くの方に参加いただき、手ごたえを感じています。」



それぞれの立場で音に関わる専門家が4ウェイストリートでバッタリ出会ったようなオーディオ会談。関わり方が違うからこそ、自由なコメントが交わされ、お互いに刺激を受けたようです。今後の仕事や活動に生かしながら、自分の求める音を見つける道をさらに進んでいきたいと思っています。
(右端:今回の取材に、いろいろ調整・案内いただいた広報担当の佐藤圭さん)

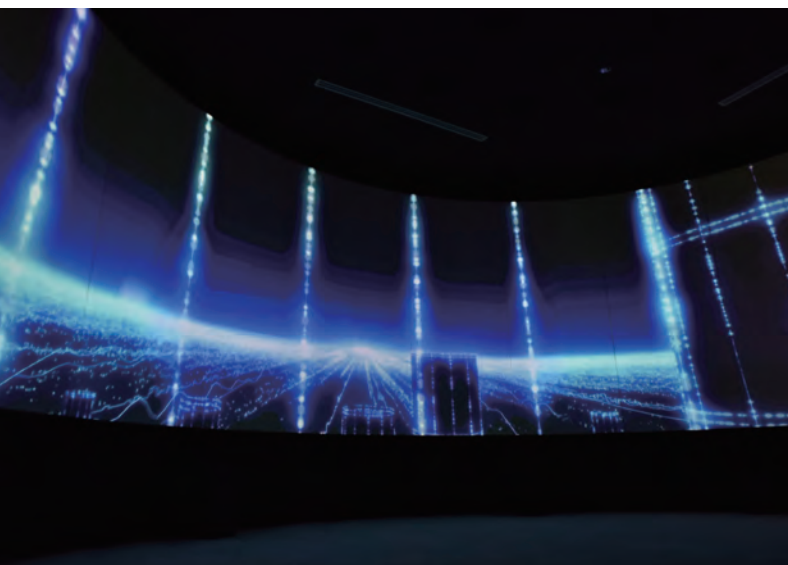
鈴木「オーディオの世界は、マニアだけのものでもないし、女性にもいい音を楽しんでいただきたい。若い人の多くは高品質のヘッドホン求めて来店しますがヘッドホンを入り口にスピーカーで聴く楽しみも伝えていきます。信じられないかもしれませんが、アンプやスピーカーが何たるかを知らない世代が生まれています。店での試聴会は年配の男性が多いのですが、奥さんや子供さんを連れてきてつてお願ひしています(笑)」



INNOVATION ROAD

施設名称 ヤマハ株式会社 イノベーションロード
〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10番1号
開館時間 9:30~17:00
休館日 日・月・祝日
年末年始・夏季・GWなどの当社休業日、メンテナンス実施日等
入館料 無料
駐車場 乗用車28台・大型バス3台

※見学には必ず予約が必要です。
受付方法 お電話にてお申込みください。
ヤマハ株式会社「イノベーションロード」
TEL 053-460-2010（受付時間 9:30~17:00）



Yamaha130年の 挑戦の歴史を辿る道

ヤマハ企業ミュージアム イノベーションロード

ヤマハの製品開発の歴史を紹介する展示施設「イノベーションロード」が同社本社に完成した。およそ1,500㎡のスペースに、ピアノをはじめ管・弦・打楽器、音響機器など800点を惜しげもなく展示する。また、展示しているピアノやアコースティックギター、展示物に触れたり演奏したりするコーナーもある。クラフトマンシップウォークでは楽器づくりや構造が学べ、ヒストリーウォークでは、創業当時のオルガンから航空機のプロペラ、オートバイ、スポーツ用品といった往年の製品が並ぶ。114基のスピーカーによる立体的な音響と映像が楽しめるシアターやピアノ、ドラム、ベースによるライブを再現する自動演奏ステージも設けられている。ヤマハファンでなくとも、ずっと観ていたくなるほど展示内容は濃い。観て触れて聴いて感じる壮大なヤマハ130年史である



40歳からの挑戦 大型二輪免許への道

スゴロク

今年40歳のドンさん。
普通二輪免許を取得して20年。
いつかは取得したいと思っていた
大型二輪免許に挑戦です。

ドンさん(40)

「喫茶ゆるはま」の常連客。今回は大好きなマスターと一緒にツーリングに行くために(前号参照)、少し重い体に鞭を打ちながら大型二輪免許取得を目指します。

START

受付

取得免許コース説明、代金の支払い、
一ヶ月の予定を記入したら、
視力検査や入校説明。

教習

1回目

普段中型バイクに乗っているの、乗り方の説明やコースを実際に走って、大型バイク特有のパワーを体験。
車体は重いけれど、アクセルを少し開けただけで楽にバイクが走ります。
止まるときはシフトダウンだけでなくFブレーキとRブレーキを効果的に使って止まるように指導される等、自分の癖を修正。



教習バイクは
NC750L

適性検査

自分の運転の適性を検査。
検査なので
結果が悪かったからといって
落ちる事はないので
リラックスして臨もう。

教習

2回目

AT教習(スカイウェイブ400タイプS)
ビッグスクーターの特性とMT車との違いを体験。

教習

3回目

初めて課題を走る!

3回目でききなり一本橋・
八の字・クランク・S字・ス
ラロームを走ります。
久しぶりの課題で不安で
すが、指導員が一つ一つ
優しくコツを教えてくれる
から安心!

ちゃんとニーグリップして
落ち着いてやれば大丈夫!

ひー!一本橋
難しいー!



卒業検定

検定コースは当日に発表。
今までの教習を思い出して、冷静に運転します。
コースを覚える事よりも、課題のミスをしないように注意。

「世の中に存在する全てのバイクが運転できる」
普通二輪免許を持っているライダーならば、いつかは取りたい大型二輪免許。取得すれば世の中の全てのバイクを運転できるなんて、無敵だと思いませんか? 40歳代表のドンさんが、そんな憧れの大型二輪免許の取得を目指します。
しかし、40歳といえば体力の衰えが見え隠れる年代。この歳になって鬼教官に怒られるのはできるだけ避けたい... そんな後ろ向きな心配は杞憂でした。遠鉄自動車学校浜松校の雰囲気はフレンドリーで指導員の方はみなさん優しく丁寧に教えてくれました。
普通二輪免許を所持している人は、少しの勇気を持って入校すれば最短12時間で憧れの大型二輪免許が取得できます。今からでも遅くない! 大型二輪免許を取得して無敵ライダーになろう!

教習

12回目

第2段階みきわめ

とうとう最後の教習。コースはこれまで沢山練習できるので覚えられます。油断すると停車時に右足をついてしまう...

教習

9回目

第2段階みきわめのコースを練習

教習

8回目

【波状路】
大型二輪で初めて体験する波状路。初めてのスタンディングでの運転に四苦八苦。



教習

7回目

【急制動】
40km/hの速度でF&Rブレーキをかけて11m以内(晴天時)で停車。しっかり40km/hを出す事が大事!

教習

6回目



第2段階みきわめのコースを覚える

教習

4回目

坂道発進と次の第1段階みきわめの課題コースを覚えます。
第1段階のコースはシンプルなので、覚えられます。その分課題に集中!

教習

5回目

第1段階みきわめ

緊張するけれど、
落ち着いて課題を走って楽々クリア!!

CHECK POINT!



7アップ

教習

10回目

【危険予測シミュレーター】
シミュレーターを使って危険予測の教習。いかにも危ないシチュエーションだけでなく、予測外の危険もあるので、モニタの隅々まで気を使う事が大事。

教習

11回目

第2段階みきわめのコースを練習

免許取得に
近道はない!!



GOOOOAL!!

念願の大型二輪免許
とったぞー!!!!



EDS

坂道はひとつじゃない。
上り方もひとつじゃない。

挫折しそうな時、不安になった時、迷った時
後押ししてくれる先生がいる。仲間がいる。
そして成長できた自分もいる。
勇気づけられた数々の言葉。

遠鉄の自動車学校には、いつでも前向きな空気が流れてる。



遠鉄自動車学校 Motorcycle Instructor File

自動車学校といえば「教官がとにかく怖そう」とイメージしていたが、最近では教官の呼び名も
指導員=インストラクターと呼ばれるようになり、女性の指導員も増えて和やかでフレンドリーな雰囲気だ。

遠鉄自動車学校浜松校は、4名の女性二輪指導員が在籍している。
お話を聞いてみると、4名とも明るくて優しい、そしてしっかりと芯の通ったカッコいい魅力的な女性だと感じた。

バイクに興味が
あったら即行動！
私達が
お手伝いします。



内山指導員

常に笑っていて、笑顔が印象的な内山さん。教習中もプライベートもとにかく元気で話しやすく、今回の取材時も場の雰囲気を盛り上げてくれていた。バイクは未所有だが、密かにRebel250が気になっている。趣味はスノーボードでかなりの腕前らしい。

自己流の運転の癖を
治すチャンス☆



瀬戸口指導員

みんなの頼れるお姉さんポジションの瀬戸口さん。厳しさの中にも深い優しさがあり母性が溢れるクールビューティーだ。どんな人にバイクに乗って欲しいか聞いてみたところ、40代ぐらいの女性にどんどんチャレンジしてバイクに乗って欲しいと語る。“車はSUVが好き”と男前な一面も魅力的だ。

教習は緊張しないで
私達と一緒に楽しもう！



桑野指導員

唯一大型二輪の指導資格を持つ桑野さん。プライベートでもREPSOLカラーのCBR250Rを乗るライダーだ。道の駅巡りが好きなので、どこかの道の駅で見かけるかも。本人曰く運動音痴との事なので、同じ悩みを持っていて免許取得に躊躇している人はコツを教えてください。

運転技術で悩みが
あったら相談してね。



鈴木指導員

4人の中で切り込み隊長役の鈴木さん。今回の撮影でも率先してポーズをしてくれた。明るくて話しやすく、人の長所を見つけるのが得意。褒め上手な性格で、教習生の緊張をほぐしてくれる。今年から二輪指導員の資格を取り活躍している。遠鉄自動車学校の雰囲気を代表する女性指導員だ。

二輪免許取得キャンペーン 9月1日(土)～11月30日(金)まで



標準プラン

料金 普通 102,500円(税抜)
(税込 110,700円)

えんてつポイント 1,025 ポイント

料金 大型 93,000円(税抜)
(税込 100,440円)

えんてつポイント 930 ポイント

39歳までの 安心プラン 追加料金不要の 定額制

料金 普通 117,000円(税抜)
(税込 126,360円)

えんてつポイント 1,170 ポイント

料金 大型 109,500円(税抜)
(税込 118,260円)

えんてつポイント 1,095 ポイント

※料金は、普通二輪(～400cc)は普通一種免許所持、大型二輪(401cc～)は普通二輪(限定なし)免許所持の場合です。※40歳以上の方はお問い合わせください。

女性応援コース
えんてつポイント 2倍！

「グローブ」プレゼント！
ヘルメット・ブーツは無料レンタル！
※詳しくはお問合せください。※写真はイメージです。

手ぶらで入校！ すぐに教習を開始できます！
安心の無料貸出！
女性用も完備！
教習用ヘルメット
教習用ブーツ
プロテクター(ボディ)
プロテクター(ひじ・ひざ)



●右／開発者の寺田さんはオーケストラでチューバを担当、その場で決めた曲にも数分の音合わせでスタンバイOK、春香も違和感なく適応。
●左上／ローランド担当者の好奇心旺盛でオープンな雰囲気は社風そのもの。
●左下／初代機AE-10の開発当初のモックアップ群。一番左の木型は社長が自ら製作した木型イメージ。



期待も膨らんでいます。実は、私、以前にウインドシンセを使ったことがあります。というのも、リコーダーは風の影響を受けやすく、ライブでは気を遣わないといけないので電子楽器ならその悩みを解消できると思う。ところが、ウインドシンセは設定や操作、奏法が難しく、これはリコーダー奏者には無理だと挫折しました。」

笛のおねえさんが ローランドの 「エアロフォン・ゴー」を 吹いてみた。

最初、白い、簡単、音も気持ちいい！

最初のモデル「Aerophone AE-10」が登場したのは、2016年のこと。画期的なデジタル管楽器のデビューだった。市場の反応は予想以上で、ローランドが想定していた予定販売台数を大きく超え、一時は生産が追いつかない状況になったという。春香「ローランドさんというと、シンセサイザーやデジタルピアノのイメージが強かったので、管楽器スタイルはちょっと意外でした。」

寺田「エアロフォンの構想はずっと以前からありました。当社のシンセサイザーやデジタルピアノ、電子ドラムなどで培われた、センサーをはじめとするデジタル技術の蓄積が長年の構想を実現しました。」

購入者にはかつての管楽器経験者も多く、ヘッドホンを使えば夜間に自宅で演奏できるエアロフォンで、再び管楽器を吹く楽しみを味わっているという。

村井「AE-10の開発時にはプロのサクソ奏者にも意見を聞きましたが、音楽家のためだけではなく、誰もが手軽に楽しめる新しい楽器を作ることが目的としていました。この「エアロフォン・ゴー」は、手の小さな女性やお子さん、新たに楽器を始めたい人にも、もっと気軽に、自由に楽器や音楽に接して欲しいという想いから生まれました。」春香「そうなんです！とても身近に感じて、

エアロフォンが演奏者に近づいてくれる

軽く打ち合わせると、すぐに演奏を始めた。春香がメロディを弾けば、もう一方は音色をパーカッションにしたり、ベースに



左からローランド広報の大野さん、開発の寺田さん、柿本春香はさんと開発の村井（とがい）部長。お世話になりました。「当社も参考になりました」と、ありがたい言葉をいただきました。

寺田「では、吹いてみますか。リコーダーと同じ運指モードにして、ブレスの強さもリコーダーに近いくに設定しましたので違和感なく吹けると思っています。」

最初に、春香がリコーダー演奏を披露。小学校の音楽室から聴こえるレベルとはあきらかに違う繊細で抒情豊かな響きはさすが。そして、エアロフォン・ゴーに持ち替えての初の試奏である。

いきなりパッセージが滑らかに奏でられる。トランペットやフルート、ストリングスと音色が変わり、小さなサイズからは想像できない壮大なパイプオルガンのサウンドも再現。（※）

春香「面白い、簡単、肺活量もリコーダーと変わらず吹けるし、音も気持ちいい！これなら、一度でもリコーダーを吹いたことがあれば、誰でも同じ感覚で吹けると思います。それと、マウスピースのリードと息の強弱の調整で、微妙なニュアンスまで表現できるんですね。」

寺田「当社の技術で管楽器ならではの繊細な表現を可能にしています。次は専用のアプリを使って合奏してみましようか。」

したりして軽快なアンサンブルが実現した。春香「演奏すればするほど、どんどん慣れていきますね。リコーダーやサクソなどの生楽器は、演奏者が奏法を学び、練習して、工夫してその楽器の本質に近づかなければいけないけど、このエアロフォン・ゴーは、これから楽器を始める人や途中で諦めた人に寄り添って、音楽の楽しさを教えてくれる楽器です。」

寺田「おっしゃるとおりです。また、専用のアプリで、ひとりでも仲間とでも楽しめる機能を用意していますし、アップデートもできますので奏者とエアロフォンがいつしよに成長できます。」

さて、皆さんが最後に楽器を演奏したのはいつだろうか。小学校のリコーダーが最後でも、エアロフォンは、かつての記憶を呼び戻し、さらに未来へと連れて行ってくれるかもしれない。

※エアロフォン・ゴーは本体に11音色を内蔵。さらにスマートフォン・アプリと接続すれば、50音色を追加して演奏を楽しめる。今回の取材ではアプリの音色も含めて試奏した。

Aerophone GO
AE-05
オープン価格

管楽器の楽しさを、もっと手軽に、もっと自由に。

Digital Wind Instrument
Aerophone GO [AE-05]

場所や時間を選ばず気軽に演奏できるデジタル管楽器 Aerophone。その魅力を、コンパクトなボディに凝縮した Aerophone GO [AE-05] が登場。初めてでもリコーダー感覚の簡単な指づかいで、すぐに演奏を楽しめます。

お問い合わせ：ローランド株式会社
TEL.050-3101-2555（お客様相談センター）
<https://www.roland.com/jp/>

リコーダー奏者／笛のおねえさん
柿本春香
HARUKA KAKIMOTO

小学生の時に触れたリコーダーに惚れ数々のコンテストに出場。2010年、独奏部門にて最高位に送られる花村賞受賞。その後、木製リコーダーの設計・制作に携わる。現在は「笛のおねえさん」として、リコーダーデュオ「フエニホン」で演奏活動を中心に、小・中学生へのレッスン、テレビ・ラジオ出演と幅広く活動中。
<http://huenihon.jp>



Photo by M.P.S



ALL FOR THE RIDERS.
すべてのライダーに最高の一台を届けたい。

取扱メーカー

HONDA YAMAHA SUZUKI Kawasaki *KTM* *aprilia* MOTO GUZZI *Vespa*

国内4メーカーから輸入車まで、浜松随一のラインナップ。

見て、比べて、乗って、川島モータースは、あなたのバイクライフを全力でサポートします。



城北本店

〒432-8011 浜松市中区城北1-10-8
TEL.053-471-2543 FAX.053-471-8600
営業時間：ショールーム9:30~19:00、サービス工場9:30~18:00
休業日：木曜日



城北本店は2018年より
「ヤマハアドバンスディーラー」認定店です。



元浜店

〒430-0942 浜松市中区元浜町76-5
TEL.053-478-0877 FAX.053-478-0878
営業時間：ショールーム9:00~19:00、サービス工場9:00~18:00
休業日：水曜日



カワサキ プラザ浜松

〒432-8061 浜松市西区入野町10001
TEL.053-415-1177 FAX.053-415-1178
営業時間：10:00~19:00
休業日：水曜日、第2木曜日



EnshuSiastGirl

Vol.2

オートレース選手

金田悠伽
Haruka Kaneda

昨年7月にデビューした第33期生の金田悠伽選手。高校時代に初めて観たオートレースのスピードと迫力に感動して、すぐにレーサーになることを決意した。目標は国内オートレーサーの頂点であるS級になること。レースの魅力を尋ねると、頑張った結果がすべて自分に返ってくるので毎日が充実してやりがいを感じているという。「地元浜松は“オートバイのまち”」。ぜひレース場に来て、わずか87mの直線で最高速度150km/hを記録するスピード感や迫力を体感して欲しい。」と語る彼女の瞳は希望と情熱に満ちている。ひたむきにレースに打ち込む彼女の姿勢を、エンシュージアストもずっと応援し続けたい。



high speed battle!
浜松オート

取材協力：浜松オートレース / <http://www.hamamatsu-auto.jp>

遠州 ものづくり 企業の逆襲。



ここに一本のハンドルがある。一見、何の変哲もないバイク用のバーハンドルのようだが、実はこのハンドルには、遠州ものづくり人のプライドと魂が宿っているのだ。

浜松の本田宗一郎が1946年に原動機付自転車、いわゆるボンボンを発売して以来、ここ遠州では多くのバイクメーカーが設立された。また、それと同時にバイクの部品製造会社も多く存在し、共に歩んできた。

しかし、近年はグローバル化の影響もあり、部品製造に関してはコストの安い海外への流出が激しく、遠州のものづくり企業の環境も苦しくなっている。

2017年8月、ヤマハ発動機株式会社は競技用オフロード車の最高峰モデル、新型YZ450Fを発売。実はそのYZ450Fにセットされたハンドルこそがこのハンドルなのだ。

そしてそこには、遠州ものづくり企業が、海外と闘う意地とプライドの物語があったのだ。

小栗伸幸

全日本ジュニア250ccクラスチャンピオン



RALLY

青木琢磨

全日本スーパーバイク
チャンピオン



ROADRACE

内山祐太郎

2011年JECチャンピオン
エンデューロライダー



ENDURO

Made in 遠州. プロが選ぶ 移動基地!

それぞれの道を極めたプロフェッショナルに選ばれた、オグショーのランスポーター。

山本鯨

全日本モトクロス選手権 (IAI)
2017年チャンピオン



MOTOCROSS

松下時子

全国誌に掲載多数
オフロードツーリングライダー



OFFROAD TOURING

浅野則夫

19歳で国内最年少チャンピオン
「絶対王者」ウインドサーフィン



WINDSURFING

佐藤素子

女子ワールドカップ
日本人初優勝
ウインドサーフィン



WINDSURFING

橋本景

プロアングラー



FISHING

石田徹

カヤック・SUPスクール主宰



KAYAK

遊び続けよう。

OGUshow
TRANSPORTER PRO-SHOP

有限会社オグショー

〒435-0006 静岡県浜松市東区下石田町1841-1 TEL 053-421-0122 FAX 053-421-3686
定休日/毎週月曜日、日曜日は完全予約制 営業時間/10:00~19:00
<http://www.ogushow.co.jp>



ものづくり企業としての意地とプライドをかけた戦い

「やるっ。」4年前、ヤマハ発動機（以下、ヤマハ）からのアルミテーパーハンドルの量産製品化のオファーに対し、製造を決定した浜松市南区鈴覚株式会社（以下、鈴覚）代表取締役社長の鈴木格徳には、苦い思い出があった。

遡ることさらに10年、同じくアルミハンドル製造のオファーを断った事があったのだ。鈴覚は鋼材販売を中心とする創業105年（2018年現在）の老舗企業である。当時、主力の鋼材販売以外にバイクハンドルなどの部品加工分野も大きな売り上げを占めるようになってきていた。しかし、その大半はスチール素材を使ったハンドル加工。アルミ素材のハンドル加工は未経験であった。アルミ加工のニーズは把握していたものの、生産ラインへかかるコスト、社内体制などを考慮した上で判断であった。

結果アルミハンドル製造は自転車の世界的生産拠点であり、アルミの加工技術が進んでいた台湾のメーカーで行われることになった。その後、アルミハンドルへの需要は高まる一方で、その製造のほとんどは台湾で行われた。鈴木はその様子を目の前で見てきたのだ。

「チャンス逃すことはしない。台湾からアルミハンドルの製造を取り戻すんだ！」

遠州のものづくり企業としての意地とプライドをかけた熱い思いが、今回の決断にはあったのだ。

ことの始まり

「これをハンドルにしませんか？」

そう、鈴覚に話を持ちかけたのは、当時ヤマハ材料技術部の奥田裕也（以下、奥田）であった。「もうと軽くて機能を高めたい」競技術用オフロード車YZシリーズのハンドルを開発していたので

部品だけでなく、いろいろな物を研磨してきた。

「やれと言われれば、何でも磨くよ。」今回は、強度が大切な部品だけに神経を使う仕事だったという。堀金属表面処理工業株式会社（掛川市）営業開発部長の渡辺浩介も同じ。アルマイト加工という最後の表面処理を担当する。「品質基準が高くて」。処理の液剤と外気温の関係がなかなか難しいデリケートな素材に手を焼いたらしい。一度はお手上げ状態になったという。それでも頭の片隅にこのアルミテーパーハンドルのことを考えていた。そんなとき別の仕事をしていて「これだ！」というヒントを得る。自分の体験を全て仕事に注ぎ込む。そんな職人たちが今回の製品を支えている。

熱い思いが遂に結実する

2014年春にスタートした今回のプロジェクト。およそ3年の期間を費やし、YZシリーズへの正式採用が決まった。アルミハンドルの生産が遠州で行われることになったのだ。「台湾から取り戻すんだ」の強い思いの結実がここにあった。その様子をずっと見てきた奥田は「いろいろな課題をみんなで解決していく求心力。」「何とか自分たちのものにしたい」という鈴覚さんのモチベーションの高さが全てでしょうね。久しぶりのものづくりの原点を見たような感じがしました。そして、ちよつと羨ましかったです」と言う。最後に「地元でこれだけやってくれる企業があると我々も挑戦する仕事ができます。いいパートナーが出来たと思います」と言葉を残した。

試行錯誤が経験値に

やっかいな素材への挑戦。そして、海外でなくとも出来るという証明。今回の取り組みはそれ以外にも多くの物を残した。先出の株式会社エコムでは今回の経験から、お客様との条件出しの重

ある。素材は航空業界で使われる、軽くて硬いA7000系アルミ素材。そして形状は、中央が太くグリップ部分が細くなるテーパー状。

「求めたのは強度と仕上がりの美しさ、そして操縦安定性。激しい競技術用のオフロード車において地面との振動を一番に感じるのはハンドルです。ハンドルが乗り心地や操縦に大きな役割を果たします。つまり、内厚が薄く、強度を担保したハンドルを造らなければなりません。硬くて加工が難しいA7000系アルミ素材で。しかも、海外と比べて見劣りしないコストでということです」最大の課題は？という問いにそう答えてくれた。鈴覚に依頼した理由は、テーパー形状を成形するスウェーピングマシンを導入する予定があったことと、スチールハンドルでの豊富な経験と知識。そして「思いのある会社だよ」という当時、上司であった同じく材料技術部の木村嘉浩の助言があったからだそう。

試行錯誤のスタート

アルミの加工に関してはほとんど未経験であった鈴覚。一からの挑戦が始まった。社内のプロジェクトチームが立ち上がる。「台湾から取り戻すんだ」口には出さないもののそんな思いがメンバーにはあった。それは、皆が以前の経緯を社長と同じように覚えていたからだろう。

最大の課題はパイプの熱処理。試行錯誤が始まった。そこで力を貸してくれたのが、株式会社中遠熱処理技研（掛川市）。代表取締役社長の高田直由樹（以下、高田）は語る。「とにかく、いろいろやるしかなかった。日常の業務があったので、早期や

夜の業務外の時間で試験を繰り返ししました。鈴覚の山田（技術部副部長兼品質保証課長 山田和人）さんもよく通ってくれました。コストのことを考えると熱処理工程は最終的に鈴覚さんでの内製化が不可欠で、いつまでも外注されないことは最初から分かっていたんです。ではなぜ？「そりゃ、思いです。ここ遠州でも出来るんだ、というところを見せないと、どんどん海外へ行ってしまう。加工屋として、メーカーをバックアップしなくてはいけない。地域としての体制が必要だと思うんです」。

高田が言うように、コストの課題と量産化を両立するためには、まどめてではなく、一本一本熱処理を行えば品質がさらによくなるのが分かり、熱処理工程はしかるべき時期に鈴覚社内の生産ラインに含めることとなった。

次の課題は設備。相談することになったのは、加熱設備の開発・設計・製造・メンテナンスを行う株式会社エコム（浜松市北区）。なんとこの会社とはそれまで直接の取引実績が無かったのだという。鈴覚の試行錯誤を知った他の会社が紹介したのであった。製造部部長の川村昇生は初めて鈴覚のスタッフと面談したとき、「台湾から取り戻すんだこの思いにワクワクしたという」。

「どんな結果を出せる設備にするのか？そのためには、ひたすらワークテスト。条件を出すための作業を行います」つまり試行錯誤。ここにも鈴覚の山田が通う。川村と二人でひたすら炉の前に立って、パイプを熱し、冷やす。約500℃の炉は容赦なく、眉毛やまつ毛を焼いたのだ。自分たちがものづくりを支え、次の世代へものづくりをつなげないと、将来の日本のものづくりはどうなってしまう

職人がいるからこそ「ものづくりのまち」

「強度を備えた美しい仕上がり」これも課題のひとつであった。それは機械や設備では解決しないこと、そこはまさに職人の領域。人ではないとできないことがあった。この遠州にはそういう職人がまだ生き残っているのだ。

「俺たちはパフ屋」だと言いつける有限会社村松研磨工業（袋井市）代表取締役の寺坂正弘。バイク



ヤマハ発動機（株）材料技術部（2018年1月よりYZグループに移動）の奥田裕也氏（写真・左）と鈴覚（株）代表取締役社長の鈴木格徳氏（写真・右）。立場は違えど、今回のインタビューにて雄弁に語る姿には、ものづくり人としての情熱とプライドを感じた。それぞれの、今後の展開が楽しみだ。

彼らの誰かひとりでも欠けることがあったら、このプロジェクトは完結しなかっただろう。これからもそれぞれの挑戦は続いていく。完成したアルミテーパーハンドルの量産化ラインを前にして。右から、浜松地域イノベーション推進機構・米谷氏、（有）村松研磨工業・蒲原氏・寺坂氏、ヤマハ発動機（株）・木村氏、鈴覚（株）鈴木氏、中遠熱処理技研（株）高田氏・様業氏。

男たちを奮い立たせたもの —— それは
「メイド・イン・遠州」というプライド。



ヤマハのバイク作りで創業以来守り通されているのが、人間の感性に馴染む自然なマシンの応答性を持ったハンドリング特性。最新のYZ450Fに採用されたアルミテーパーハンドルは「ハンドリングのヤマハ」の持ち味である優れた操安性に磨きをかけ、さらに高次元に引き上げる重要な役割を果たしている。

遠州の銘品

株式会社河合楽器製作所

1978年発表 カワイ・ムーンサルト



1977年の楽器フェアでプロトタイプが発表された『ムーンサルト』。カワイがオリジナルギター開発にあたって掲げたテーマは「宇宙の物語」であった。最初に太陽がイメージされたが、最終的には三日月シェイプボディを採用。ルックス面のみに注目しがちだが、開発陣がこだわったのは人間工学に基づいたボディデザインであり、絶妙な重量バランスと弾きやすさを実現していた。当時カワイ体操部所属であった塚原光男選手によるウルトラCの特技「ムーンサルト」の命名には、「弾き手が宇宙へ飛び出すイメージでギターを弾いてもらいたい」というカワイの壮大な願いが込められていた。写真のモデルはインベリアル・ベグを装着したプロトタイプと同仕様の限定生産〈カワイ新宿店モデル〉である。

■撮影協力 宮脇 敏浩（ひろ吉）氏所蔵
■参考文献 Guitar Graphic vol.7
（リットーミュージック）

株式会社河合楽器製作所
浜松市中区寺島町200番地
http://www.kawai.co.jp



（株）エコム「エコムテクニカルセンター」。小学校の体育館のような建屋には、実験設備と共に、クライアントが実験データを逐一確認できたり、他の業務が出来るようにウェイトニングスペースも完備している。

要性を強く感じ、加熱テストをクライアントが立会って行える「エコムテクニカルセンター」をオープン。あの眉毛を焦がしながらやったテスト機もそこに含まれていた。

また、株式会社中遠熱処理技研の高田も言う。「いい経験を一緒にさせてもらった。あの時の試行錯誤は、うちの会社にも経験値として残っている。有限会社村松研磨工業の寺坂も「職人としていい経験をさせてもらった。職人は経験が全て、いい仕事につながっていますよ」。堀金属表面処理工業株式会社の渡辺も同様の答え。でも外気温の影響が大きい処理は一年を通して状況が変わる。まだまだ現在進行形なのだ。

そして、今回のプロジェクトの中心にいた鈴覚の鈴木は感謝を込めて「今回の事は、みなさんに助けてもらった。遠州のいろいろな企業が損得抜きで付き合ってくれた。みな、この遠州ものづくりの誇りを持っているからこそ。我々も負けないようにいい仕事をしていくし、このような同じ思いの仲間がいると思うと心強く思います」と語った。さらに「一番の功労者は社員たち。やっぱりものづくりのまちに住んでいるDNAがあるんですね。誇りに思います。」と付け加えた。

「ものづくりのまち」遠州として

実はストーリーには入ってこなかったのだが、影の功労者として浜松地域イノベーション推進機構の存在があった。彼らは、今回のプロジェクトに寄り添い、陰に日向に応援してきた。通称サポイン（サポーター・インダストリー）戦略的基盤技術高度化支援事業への申請、採択、運営に大きな役割を果たした。国の補助を受けるということが、大きな推進力になった。また、国が認めた開発プロジェクトとすることで、この遠州のものづくり企業のポテンシャルの高さを示したともいえる。

鈴覚と大学 静岡大学 早川邦夫大学院教授、支援機関（浜松工業技術支援センター 伊藤芳典材料科科长）などアドバイザーとの連携をとりもつたのも彼らである。彼らは言う「量産技術確立のための情報は隠すことなく、互いに共有し合うことができた。今回の事例はオープンイノベーションそのものです」。鈴覚の取り組みは単に企業の成功事例だけではなく、ささうだ。

今回のプロジェクトはひとつの部品製造企業とその思いに共感した遠州ものづくり企業の誇りと意地が成し得た物であると考えられる。遠州にはヤマ発をはじめ世界的企業が数多くある。日頃、それらの企業の影に隠れがちな遠州のものづくり企業。しかし、彼らがやっていること、持っている技術は（開発の時点でも）現時点でも世界レベルなのである。

※敬称略 文 松下克己

今回のプロジェクトに係った企業
鈴覚株式会社
株式会社 中遠熱処理技研
株式会社 エコム
有限会社 村松研磨工業
堀金属表面処理工業株式会社
公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
国立大学法人 静岡大学
静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
ヤマハ発動機株式会社 材料技術部

ライディングが上手になりたいあなたへ。

●ヤマハテクニカルセンター ／ライディングスクール

ライディングが不安な方もっと上手になりたい方は必見。ヤマハテクニカルセンターのライディングスクールは、少人数制による丁寧な解説でライディング技術を「楽しく安全に学べる」スクールです。半日／1日の2コースがあり、1日コースでは「走る・曲がる・止まる」の基本を重視した走行練習とバランス感覚を身につけられるトリアル体験を学べます。講師による客観的なアドバイスがわかりやすく、確実にライディングスキルがアップします。



参加者からも「客観的なアドバイスが非常にタメになる。きめ細かい指導でライディングのレベルアップを実感した。」と大好評。

お申込み・お問合せ：ヤマハテクニカルセンター 掛川市富部28
TEL：0120-819-410（フリーダイヤル）
https://www.yamaha-motor.co.jp/mc/yra/ridingschool/

MOTORCYCLE SHOP

上質なライフスタイルを提案する新しいカワサキ専門店が誕生。

●カワサキプラザ浜松

新たなカワサキブランドの専門店が浜松に誕生。カワサキプラザ浜松は、モーターサイクルの販売だけでなく、五感で楽しむことのできるシヨールムや安心安全なモーターサイクルライフを提供するサビース工場を完備。上質なライフスタイルのご提案により、最高な形でカワサキブランドを体験していただけるシヨブです。



カワサキ プラザ浜松
浜松市西区入野町10001
営業時間：10:00～19:00 定休日：毎週水曜日・第2木曜日
TEL：053-415-1177

MUSICAL INSTRUMENT STORE

ビギナー向けからヴィンテージまで修理・調整も安心の楽器店。

●クエストミュージック ZAZACITY

エレキはFender、アコースティックはMartin、Taylorの正規ディーラーとして販売はもうろん、購入後のアフターケアも行っております。中古楽器の販売、買取も受け付けており、他店に負けない高額査定で買い取ります。マア必見の中古品が入荷することもあります。

また店内の工房では、ギターの調整、配線修理、ピックアップの取り付けなどすぐに承ります。ビギナー向けの楽器から、パーツ、メンテナンスグッズなど多数揃えておりますので、ぜひお気軽にお越しください。



●弦の交換 ¥1,200 ●クリーニング点検¥2,000 ●ネック反り調整 ¥1,600～ 幅広く承ります。まずはお気軽にご相談ください。



クエストミュージックZAZACITY
浜松市中区鍛冶町15 ザザシティ浜松西館1階 112
営業時間：10:00～20:00 定休日：ZAZACITYの休館日に準ずる
TEL：053-452-5152 http://www.questmusic.co.jp

BOOKS

手作りバイクを完成させた男の笑いあり涙ありの工学エッセイ。

●羽田隆志 著

「Virtual Steering Monkey 手作りバイクが走るまで」

1998年に(株)デイトナから発売された「バーチャルステア・モンキーフレーム」。著者の羽田さんは、その考案者であり設計者だ。見慣れないスタイルのモンキー。特にフロント周りが独特な形状で「コンセプトモデルのようだ」が第一印象。本の内容としては、販売に漕ぎ着けるまでのきつかけや、様々なエピソードが中心だが、何より設計者の情熱が垣間見れて興味深い。

バイクメーカーよりむしろアフターパーツメーカーの方がユーザーが求めているワクワクに近い存在のような気がするの、造り手の情熱や信念がストレートに伝わってくるからじゃないかな？



著者：羽田隆志
定価：1,296円(税込)
発行日：2018年4月26日
判型：四六判、228頁
発行元：株式会社幻冬舎
メディアコンサルティング
発売元：株式会社幻冬舎

PHOTOGRAPH

自慢の愛車と最高の一枚を。

●MOTO PHOTO by H.Kurumiya

あなたのバイクをプロカメラマンがスタジオ撮影する「motoPhoto／モトフォト」が誕生。カスタムした自慢の愛車とご自身をプロの手で「最高の一枚」に残してみませんか？本紙の表紙撮影も担当し、自身もバイク乗りのカメラマン久留宮氏が、同じライダー目線で最もカッコいい瞬間を切り取って撮影します。

愛車をボスターにして、ガレージに飾ったらあなたもスターライダー。撮影会情報や問合せはFacebookで公開中です。

motorcycle photography
motoPhoto

お申込み・お問合せ：モトフォト(久留宮秀和)
浜松市中区鴨江3-72-15 1F
TEL.080-3630-9964
https://www.facebook.com/motophoto



資料あり

APPRICATION



http://bbmarket.jp/
運営：株式会社デイトナ
周智郡森町一宮4805
TEL：0120-819-417
(平日13時～17時)

APPRICATION



運営：株式会社プロトコーポレーション
https://www.goobike.com/motocle/campaign/



バイクに特化した写真共有型のSNS。

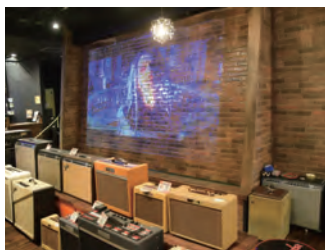
●モトクル

バイク好きのみんなが集まるバイク専用SNSアプリの決定版が誕生。モトクルはスマホで写真を投稿することで、全国のバイク仲間と気軽にバイク情報を共有できるアプリです。ツーリングやグルメスポット情報、お気に入りのバイク写真や駐車場情報など、ライダーが知りたい情報が満載。定期的に開催されるフォトコンテストで賞品をゲットしたり、同じバイクに乗っているライダーと知り合ったり、同じ地域のツーリング仲間を探したりと、つながることあなたのバイクライフがもっと楽しくなります。

遠州音楽シーンを全方位でサポートリニールでアツと驚く仕掛けも。

●Sonix／ソニックス

2017年秋のリニールで売り場面積が大幅に拡大。ギターの展示スペースが倍増され、楽器の品揃えは日本随一を誇ります。何と言っても圧巻は、楽器屋さんではおそらく世界初、幅4m・高さ2.5mを誇る滝の存在感。木工品である楽器への調湿機能とともに、水のせせらぎが人の心を優しく癒します。楽器販売買取、リペア、練習スタジオも完備で、遠州音楽シーンの屋台骨をがっちりサポート。バンドを始めたいと思ったら、ぜひSonixへ。



Sonix／ソニックス
浜松市中区高林4-5-8
http://www.sonixsystem.co.jp/sonix/

全国から聖地に大集合！
丸ごとVストロームな1日。

●Vストロームミーティング2018

今年で4回目となる「Vストロームミーティング」。全国のVストローム乗りが今年も聖地であるスズキ本社目指して大集合します。本社特設会場にVストロームがズラリと並ぶ様子はまさに圧巻。年々盛り上がりを見せるイベントはスズキ社員スタッフによる歓迎から始まり、トークショー・限定グッズ販売・パーツブース出展と多彩なプログラムでファンを楽しませます。スズキファンの方なら誰でも入場できるイベントに、ツーリング仲間やご家族でぜひご参加ください。

RIDERS EVENT



2018年9月2日(日)
10:00~14:00予定
入場無料

※雨天決行・荒天中止

会場: スズキ株式会社 本社 浜松市南区高塚町300

http://www.1.suzuki.co.jp/motor/vstrom_meeting2018/

SWAP MEET



2018年12月9日(日) 朝5時~昼12時

浜名湖競艇場東側駐車場 湖西市新居町中之郷3727-7

<https://hamanakosm.hamazo.tv/>



●浜名湖2&4スワップミーティングVol.19
東海地区最大クラスの2輪、4輪パーツ交換会、浜名湖2&4スワップミーティング。300ブースに迫る出店数の多さで、バイク・クルマ・パーツだけでなく、グッズや衣類、自転車など多彩なジャンルのアイテムが多数出品されます。恒例のテーマ車両はスーパーカブ60周年を記念して「OHVカブ」と昭和の働くバイクに決定。自慢の愛車とともに参加すれば、盛り上がることも間違いなしです。わがエンジン・ジアカブへもぜひお立ち寄りください。最新情報は公式ブログで。

バイク好きは見逃せない、
お宝を見つけるチャンス。



イラスト: わたなべたくみ



ひらま良明

浜松市議会議員 活き活き浜松 (活性・活発・活気・活力)をスローガンに、はままつを活性化して、もっと魅力あるまちにしたい! (ものづくり・観光・新産業・音楽・バイクスポーツ・文化・育児支援)はまぞうブログ「ひらま良明です。」に活動報告を掲載しています。 <http://hirama.hamazo.tv> 「俺がやらなきゃ誰がやる!」

このままでは「二輪のまち」の名が廃る?

かつて町にはヒーローがあふれていた

私がバイクを好きになっただけは父である。父は4輪免許を持っていなかった。マイカーは125ccのバイクだった。幼いころから私は父のバイクの後ろに乗せてもらっていた。バイクから落ちないよう必死に父の腰につかまり、カーブを曲がるスリルを楽しみ、スピードが上がるにつれて線になる風景を見るのが好きな子どもだった。

16歳になると直ぐに原付免許を取ってスクーターに乗り、1年後には中型二輪免許を取得して、中古のCBX400Fに乗った。ちなみに免許の取得費用やバイク購入費は親に頼らず、新聞配達やアルバイトで賄った。その頃の方が今よりも自由に使えるお金があった。当時は第2次バイクブームの真っ最中であり、バイクを題材にした漫画も多かった。「750ライダー」の早川光、「バリバリ伝説」の巨摩郡、「あいつとトラバ」の菱木研二、「湘南爆走族」の江口洋助など、主人公は自分と同じ高校生であり、大きな影響を受けた。テレビや映画でもバイクが登場しており、ドラマ「西部警察」ではタナに乗り、映画「汚れた英雄」では草刈正雄が演じるバイクレーサーのライダー目線で撮られた走行シーン(ライディングシーン)は平忠彦が走行で、レーサー気分を味わった。兎にも角にもカッコいいバイクとそれに跨がるヒーローが世の中にあふれている時代だった。

そんなバイク好きが高じて、私は某バイクメーカーに入社し、バイクの完成車検査員に

生まれ故郷を後にして、東京暮らしも40年。全国ニュースとしてテレビから流れる「ハマツ」の話題なんて、せいぜい自然災害か佐久間の最高気温を伝えるニュースくらいのもの。「東京人」からしてみれば、浜松のことは浜松の人が想像する以上によくは知らないというのが残念ながら実情かもしれない。

僕にとって浜松は高校卒業まで過ごしたふるさとです。懐かしさや愛着もある反面、シテプロモーションの成果には少々残念で、悔しい複雑な心境を抱えています。温暖で、暮らしやすい恵まれた環境が、気質に「ぬるさ」を招いているのかとさえ疑ってしまいます。少々使い古された感のある「やらまいか」というフレーズも、それが「こんなんでいいら?」といった適当さに聞こえてしまうことさえあります。僕の過剰気味の熱さに温度差を感じる浜松の知人友人も過去に沢山いました。

楽器製造の一大集積地である浜松は「音楽のまち」から「音楽の都」へとスローガンを2013年頃に更新しました。職人気質的なものからの転換や文化的成熟を目指したのと思われそうですが、こういったものは自ら公言する前に他者からの評価も大切だと考えます。東京と大阪という大都市文化圏に挟まれた浜松は昔から「文化不毛の地」と自嘲も含めて語られてきました。



小池延幸

浜松市出身東京都在住
バイクと音楽そして浜松を愛して止まない週刊誌記者。そこにしか存在しないモノの強みや、突き抜けたバカさ加減が大好き。今回縁あって急速寄稿。

「唇に歌を」の精神で遠くまで行くんだ。

音楽文化といえは、後に「やらまいかミュージックフェスティバル」はままつ(以下、やらフェス)となる大規模市民音楽祭の準備会が2006年に結成され、動き出しました。それから12年、そろそろ「やらフェス」も「成果と限界」という視点での自己総括が問われている時期だと思っています。一般論として常に「大成功」の自己評価と喧伝だけでは自己満足とも受け取られ兼ねない危惧もあり、前進も深化も望めません。下手すれば停滞やマンネリズムも蔓延するかもしれません。

中間を表す英単語に「MD」(MIDDLE)があります。政令指定都市の浜松は規模的にはいわばミドルシティ。「ミッドランド」が名古屋の代名詞「ミッドタウン」は六本木、「ミッドカントリー」が田舎臭いイメージならば、浜松が「ミッドシティ」宣言しちゃうとビタリな気がします(「LAやニューヨークにも同呼称の地域は存在しますがいずれも音楽が盛んな街です」)。

大風呂敷を広げてホラを吹こうが幸いにも税金はかかりません。夢想や妄想も悪いことではないと思います。そういえば「野外音楽堂」の類だって、まだ「音楽の都・浜松」には存在していないよね。

僕はこれからも浜松にエールを送り続けていくつもり。

何時か何処かのストリートで!

なった。その後、労働組合の役員を経て、市議会議員になった。今でもバイクに乗り、バイクの所有歴は34年になる。

バイクが最近絶滅危惧種に?

バイクの国内販売台数は1982年の328万台がピークだったが、それから30年余を経過した2016年には33万台まで減少した。2017年は少し持ち直したものの36万台というピーク時の10分の1の状況である。

浜松市は国内4大バイクメーカーのうち3社のルーツがあり、取引先や販売店など多くの市民がバイク産業にかかわりを持っている。「バイクのふるさと浜松」として産業振興やシテプロモーションをしている街である。私は市議会議員として、バイク産業の活性化やライダーの負担軽減や利便性向上のために様々な提言や行動を起こしてきた。

市議会初登壇で提案した原付バイクの「ご当地ナンバープレート」の実現を始め、バイク駐輪場の整備促進、毎年「9月9日の日」前後に開催されるバイクのふるさと浜松」では、体験型イベントの実施やライダーだけでなく、家族全員で楽しめるイベント作りを提案して実現してきた。

他にも、「二輪車の普及促進を求める意見書」として、ABS標準装備で値上がりするバイクに補助金を交付する「セイフティカー補助金」の導入、「バイクの高速道路料金の半額化」を市議会でもとめて国へと提言してきた。経済産業省は2020年に国内新車販

すた
廃る?

売台数100万台を目標とする「バイクラフフォーラム」を主催し、アクションプランに沿ってバイク関係者や浜松市も取り組んでいるものの、残り2年足らずで現在の3倍にするには大幅な規制緩和やインセンティブが必要であることを経産省や各党のバイク議連の国会議員にも訴えてきた。

「川」を「海」に

現在は第1次・第2次バイクブームのライダーが定年退職を迎え、子育てでも段落して時間の余裕が出来たことから昔あこがれたバイクに乗る方などのリターンライダーが増え、絶対数は少ないものの「第3次バイクブーム」と呼ぶ人もいる。リターンライダーは若い頃に比べて動体視力や反応速度の遅れをカバーするためにABS付バイクを選んだり、胸部プロテクターをつけたりと安全装備を重視する傾向があるそうだ。

そこで私は前述のABS装着車の「セイフティカー補助金」や「胸部プロテクター購入補助金」など、安全装備の普及促進となるような政策を実現したいと思う。

また、群馬県や埼玉県が先陣を切った高校生の三不運動「廃止」実現に向けて、交通安全教育の充実を図っていき、バイクを「危ない」というイメージから、「楽しい」「カッコいい」「エコ」「生活や心を豊かにする」「役に立つ」というイメージアップにつながる様々な取り組みを今後も行っていきたい。そして、たまには息子をタンデムシートに乗せて、男旅をしようと思っている。

エンシュージラスト読者の皆様こんにちは。南区の自転車屋です。

前回は乗り物の素材の話、特にカーボンのお話でした。次回は金属材料の話と思っています。だが、どう考えてもマニアックになりすぎるのだから、今回のお話は、「移動手段」としての乗り物と、「嗜好品」としての乗り物の違いについて考えてみました。

日本では戦後、本田宗一郎氏をはじめ、様々な人々の努力によって、オートバイや自動車が発達し、復興期の屋台骨となって産業の下支えとなり、いつしか先進国トップレベルとなった我が国の経済ですが、その起爆剤たる自動車産業は次の時代、電気自動車などにシフトする過渡期へと来ています。



より高度な運転サ
ポート技術、その先
には自動運転の世界
が待っているようで

Vol.2

乗り物と素材の話

乗り物って何だろう？



山本 雄一郎

やまもとゆういちろう・1985年生まれ・大手発動機メーカー勤務後、老舗自転車店にて修行。その後独立し、現在は自転車店「Green Cog」店主。



すね。そもそも、「乗り物」って移動手段なんですよ。ヒトが自分の足で動ける範囲って、やはり狭い。

そんなヒトの移動を、より速く、より楽に、より遠くへと拡げてくれたのが自動車やオートバイだった訳です。それが生活必需品となり、普及すると、今度は移動手段そのものを「楽しみ」とする動きが当然出てくる訳で、その先にあるのがサークिटでのレースや、山間部でのラリーなんかには繋がるのかと思います。



自動運転はこの先必要な技術であるのは間違いないことですが、移動を楽しむさに変えてくれる「運転」もまた、これまで通りに存在し続けなくてはいい文化であります。若者のオートバイ離れ、クルマ離れなんて言われて久しいですが、そんな嗜好品として「乗り物」と向き合うヒトが根本的に減ってしまったんですか。

これは、僕の本業である自転車にも言える事で、ただママチャリや通学自転車で「移動」するのではなく、自分の好みの自転車で颯爽と走る事は、ただの移動をより気持ちの良いものに激変させてくれるのです。

これはロードバイクなどのスポーツ自転車に限らず、ママチャリや通学自転車も、ちよつとのカスタマイズやメンテナンスでもっと愛着を持って、乗り物と向き合えるようになります。

エコジョーな乗り物であるはずの自転車、使い捨てにされている現在、本当の意味でのエコジョーは、クルマもバイクも自転車も、古いものも大切に長く使う事が本質であるように思われます。

だからこそ、今のうちから子供たちにも、もつとカスタマイズやメンテナンスの楽しさを教えて、嗜好品として乗り物を愛でてくれる、そんな素敵な大人が増えればいいなと思います。

Good Day sunshiners

人生日々大喜利

Vol.2

個性的で愛すべきお客様たち。



庄司哲也

しょうじてつや・コンビニ店長・1973年生まれ・いつも自転車屋さんにいてあだ名がテンチョーなので自転車屋の店長と思われる事が多いが、正確には「自転車屋さんに入り浸っているコンビニの店長」。ポリシーはそこそこ仕事してもりもり遊ぶ。

エンジニア・イラスト読者の皆さんお久しぶりで
す。前回の作文ですっかりその氣になってSNS
の職業欄が「イラスト」になっている「ピ」店長
の「テン・チョー」です。続きはまた次の機会にと
書きながらましか本当に続きの「ご依頼がある
とは思わず夏休みの小学生のように頭を抱え
てます。

年中無休24時間営業の「コジビ」は老若男女様々なお客様がいらっしゃいます。今回は「个性的で愛すべきお客様たち」です。

まずは海外旅行者風の外国人のお客様さん。相当日本通のようで「コジビ」へ入店。店内の色々なものに興味を示し、とても楽しそうです。ひと通り楽しんでカウンター周りのファース

の仕事です」という話をしていました。

新しいコースが入ってきたら、そのポリシーを読む。確認して、落とす原稿を決めたり、読みながらディレクターの指示を、ヤホンで受けて様々な事柄に対応する。当然、入社すぐのアナウンサーは取っ散らかるらしい、それを克服するために、そのアナウンサーが新人時代に実践したのが、7の足し算引き算だったそう。

7、14、21、28、35……と足していって1000を超えたら、今度は0になるまで7を引く。食事しながらも、歯磨きしながらも、お風呂に入しながらも、頭の中で計算し続ける。

最初は計算しながらお風呂に入るだけでも何し
てるのか分からなくなる。Ｔシャツを着たまま湯
舟に入りそうにならう。頭を洗った分分からな
くなったら、知らないうちに髭が剃ってあつた
……。そんなこんなでも、２週間くらい続いた時
に何をしながらでも、頭の横ちこで７の足し
算が続いているようになってきました。それと同
時に不思議とハガールを複数個同時進行で作
れるようになってきました。

このマルチタスク、とっても便利!! 電話でクレーム対応しながら、パソコンで別件のメールチェックしたり、部長の説教をちゃんと聞きながら、今夜どこに飲みに行くか考えたり…。スーパーサラリーマンの出来上がりですね。

複数の事が同時にできないって方、7の足し算引き算オススメです。



トフードを選びはじめます。日本語もよく勉強しているようで商品POPも分かるようです。そして中華まんを指差し最高の笑顔で「あんぱん2人クダサ〜うん惜しい苦笑でも最高！そして次のお客さんは部活帰りの高校生。

「……」と、思った。その時、中で何かが動いた。「!?」と「……」と思いつつ、見ている訳にもいかないのて接客しているとなら何か動くーやはり何かある!?」

そこで「店にハエがいたので捕まえました」とサッカ少年。なるほど分かんらん。「君のベトカかと思つたよ」と思つたことを正直に言うとはじめ

て自分の行動のおかしさに気づいたようでキョ
ロリ始めました。生きたハエを捕まえるとはさ
すが強豪校。今年の高校サッカー予選が楽し
みです。

お次のお客さんは毎日腕相撲しにくるお客さん。いつも酔っ払つてる様子で毎日チューハイを買いに来店します。腕ぶしに自信があるように、「お前強そうだな。腕相撲やろうぜ」とチンチヨ強もなもしそんなサービスもやってないで断りますが全然聞いちゃくせん「絶対手を抜かない」との事だったのでサックと倒して帰って貰うことにしました。いざ腕相撲してみても全然強くない。むしろ弱へ笑倒してこれで件落着と思いきや毎日腕相撲しに来るようになりしました。チンチでは腕相撲サービスはやつておりません。ご理解のほど宜しくお願いします。

客さんもお客さんは鳩、それなりに忙しい時間にお次のお客さんは鳩、それなりに忙しい時間にお自動ドアを開けてトコトコ入店。接客中のお客様さんもキョロウとしています。鳩くんはマイペースで店内をゴロゴロ。慌てて床で滑たススキにキッパツ！店内で飛ぶなくてよかったです。

老若男女どこか人間以外も来店するのがコンビニ。興味がある方はGSビルでアチチョーを探して下さい。大概そこにいます。そしてアルバイト募集中です。

大沼、沼にはまる

趣味の世界にどっぷり夢中になり、もはや抜け出せない状態を「沼にはまる」と言われます。これまでを振りかえると、松田聖子沼、NOLANS沼、オールナイトフジ沼、Van Halen沼、村上春樹沼、KDX沼、一人旅沼、ハーレー沼、サンデーレース沼など、いろんな沼にはまってきました。そんな自分が最近にはまっているのが「オーディオとJAZZ」。特に1970～80年代のレコードを中心としたアナログオーディオにはまっています。数ある「沼」の中でもディープで危険と言われるオーディオの世界。上を見れば、アンプが何十万円、数百万円のスピーカーも当たり前。中にはより良い音を聴くために「マイ電柱」なるものを立てる猛者もいるようです（オーディオは電気製品のため、そこに供給される電気の「質」が音質に影響をするらしい、実際どんな効果があるかは興味津々ではあります）。でも何もそこまで気張らなくても、もっと手軽に楽しむ方法があるのです。それは「中古オーディオ」。オークションや中古ショップでは、当時定価10万円以上したスピーカーが数万円台で出ていたり、中古レコードなら昔買えなかったLPがわずかに数百円で手に入ったり。アナログの音が耳に優しく、至福のひとつきを味わっているとか「次は真空管アンプか?」とささ思いう始末。趣味の世界は果てしなく深く、しかし心地よく、もっと深みにはまっていきたい気分です（正にどろ沼状態と言うのでしょうか）。趣味を愛するわがエンシュージラスト読者の皆さんは、どんな沼にはまっておられるでしょうか？



テキサス大沼

エンシュージラスト編集長。20歳でバイクの免許を取り、これまで様々なバイクを所有。現在の愛車は81年式のXL250S。最近はMotoGPなどロードレース情報を中心に追いかけています。音楽はロックを中心にジャズ・クラシックまで幅広く聴いています。

遠州弁の本意

浜松に来て、もう25年近くなりますが、未だに遠州弁が話せません。ヒアリングはほぼオクサーなのですが、いざ会話となると緊張して使うことができません。それでもネイティブなベテランが集まるところにはよく行くことがあり、遠州弁を研究するには格好の場となっています。耳をこらしていろいろ聞いていると、意外なことに遠州弁は一例として（あの衆ら）「ちいーとも」「しやへん」「もんでのお」「やいやい」的な実にネガティブな要素を含んだワードが多いことに気がつく。これでは本来熱中人が持っているべき「やらまいか精神」とは逆の、文句たらたらな気質ではないか…とも思えてしまいます。が、しかし実は遠州弁の中には光り輝くすばらしい接続詞が存在するのです。それこそが遠州人が最も口にする人が多いであろう「だもんで」という言葉です。これは標準語ではなかなか言い表せないとても便利かつ前向きに転換するための表現で、例えば上記のように愚痴った後でも「だもんで」ひとつ入れることで「オラたちだけでなんとかやらまいか!」となるのです。かの家康公も本田宗一郎も失敗を繰り返しては脱糞したりスバナを投げたりしたのかも知れませんが、きっと「だもんで」があったからこそ、気を取り直して、最後には大きな成功を手にしたのではないかとまで感じてしまうのです。まあ、すべては流れ者の自分が言っているだけの仮説なので、それが本意かどうかはわかりませんが、…。それより遠州生活25年、自分もそろそろ遠州弁使っちゃっても…いいん？



山さん山川

エンシュージラスト編集発行人。(有)キーウエスト クリエイト代表。モーターサイクルと音楽とデザインをこよなく愛する53歳。愛車は1989年式の4速スポーツスターと81年式ホンダシルクロード。ヘルメットは銀ラメのArthur Fulmer、たまにヒロタケアライ。

タンデムナイト

A美とは行きつけの喫茶店で知り合った。ある日、帰ろうとした彼女の車のエンジンがかからず、半べそで店に戻ってきた。常連たちであーだこーだと弄ってもダメで、結局俺がバイクで送ることになった。マスターのヘルメットを借り、Dリングにストラップを通して留めてあげると「バイクに乗せてもらうのって初めて」と嬉しそうな笑顔を見せた。少し遠回りして遠州浜の防波堤沿いを走り、少しだけ波を眺めてから川向こうの家まで送った。それから、彼女の車を店に置かせてもらい、夜にタンデムで走るようになった。彼女は知人から譲ってもらったという、コンベシールドのついた赤いジェットヘルを車にいつも乗せていた。時間があれば浜名湖を一周したり、御前崎まで足を伸ばしたりもした。「風やエンジンの音やゴソゴソ感じる道路の感触が面白くてクセになる」「バイクを止めてエンジンを切った時に急にやってくる静けさも好き」と彼女は言った。俺は俺で、風が奪っていく体温を補完するかのよう背中から伝わる暖かさが心地よくてまんざらでもなかった。しばらく続いたタンデムナイトだが、年の瀬も近づいた寒い夜を最後に「東京で働きたからファッションの勉強する」という彼女の旅立ちでピリオドを打った。「いつかきつと帰ったら〜」と赤いジェットヘルは俺が預かった。-----「赤いヘルメットまだありますか?」長い空白の後、思いがけずSNSで再会した彼女からの最初のメッセージ。今は単身N.Yで、近く帰国の予定らしい。あの日言った「いつか」は来るのかもしれない。



アジト石塚

エンシュージラスト編集部内のマルチシーパー。デザインはもちろん文章からカメラ、イラストまで担当。FRP加工から革、銀、粘土など素材を問わずアナログなモノづくりが趣味。より広い視野でモノづくりするために、最近アジトを浜名湖から太平洋側に移す。

そろそろソロやらん?

暑くも寒くもない4月末。家でランチを食べてバイクにキャンプ道具一式を詰め込み家を出る。1人だから急ぐ必要はまったくなく、のんびりライディングを楽しみながら秋葉山下社のキャンプ場を目指す。丁度1時間ぐらいで到着。すでに家族連れや仲間とキャンピングしている人達がいるので、少し離れたところにバイクを置いて設営。テントも机も椅子も必要最低限の物しか持ってきていないので30分もかからず設営完了。椅子に座って目の前を流れる気田川をのんびり眺めながら一服したり、焚き火用の枝なんかを集めながら周りを散策したり。意外とソロで来ている人が多いのに気づく。話しかけたいしはないが、どんな道具を使っているのか気になるのはあちらも同じか。夜になると景色は漆黒の闇に覆われ、月明かりとランタンの光のみの世界になる。夕食はメスティンでご飯を炊いたり、クッカーでベーコンを焼いたり、1人だから腹が満たされれば何でもいい。どうせキャンプで食べる飯は何でも旨く感じる。ソロキャンプの夜は長い。何して過ごすかと言えばずっと焚き火と戯れている。酒でも飲めればいいんだが、残念ながら僕は下戸。それでも1人で火を見つめ、川の流れる音に耳を傾け、時折感じる晩春の匂いを感じ、月明かりを浴びているだけで、…何故か楽しい。翌朝、自然と目が覚める時間にテントから這い出て、ホットサンドと珈琲で簡単に朝食を済ませ、テントを乾かしつつ好きなタイミングで撤収。ソロキャンプの時間はゆっくり流れる。家に帰れば、いつもの日常が始まる。次はいつ頃、嫁オクサーがでるかな。



ドン・サハラ

エンシュージラスト デザイナー&エディター。西アフリカのジャンベとブラジルのサンバ、そして日本のサザンをライフワークにしている太鼓野郎。愛車はH-D XL883N。エンシュージラスト特攻隊長としてアットワークを武器に、重い体を引きつりながら西へ東へ突撃取材します。

HOMEPAGE



<http://enshusiast.com/>

facebook

<https://www.facebook.com/Enshusiast/>

エンシュージラストのホームページおよびfacebookページではこれまで掲載された内容や最新の情報を随時アップしております。読者参加企画などもありますのでぜひともブックマークをお願いします。

PLANNING & DESIGN

エンシュージラスト編集部では遠州地域を中心としたモーターサイクル、音楽、おすすめのショップ情報なども募集しております。また編集部のある(有)キーウエストクリエイティブでは企画・編集・デザイン(ポスター、パンフレット、チラシ、カタログ、web)、レンタルスペースの運用なども行っておりますので、必要に応じてお気軽にご相談ください。

(有)キーウエスト クリエイト 担当: テキサス大沼
〒430-0928 静岡県浜松市中区板屋町101-22
TEL : 053-450-0222 FAX : 053-450-0225
mail : info@key-w.com

※連載「六間道路グランプリ」は都合によりお休みさせていただきます。



イラスト・ボブ植田

男「なんで嫌なんだ、こいつは最高だぞ」というやりとりをしていたら向こうからV8の低音が聞こえてきた。そこに現れたのは1955年式キャデラック・エルドラドのコンバーチブル。

反射的に男に「あのキャディーは空いてるか?」と聞く。男はあっさりと「OK」と答えた。キャデラックで市内観光をしている間、現実と夢が混ざった不思議な感覚になった。

男「タクシに乗りたいのか?」自分「このベルエアは乗れるか?」男「こいつは調子が悪いから駄目だ、それよりこのインバラはどうだ」自分「インバラはいいよ」

男「なんで嫌なんだ、こいつは最高だぞ」というやりとりをしていたら向こうからV8の低音が聞こえてきた。そこに現れたのは1955年式キャデラック・エルドラドのコンバーチブル。

男「タクシに乗りたいのか?」自分「このベルエアは乗れるか?」男「こいつは調子が悪いから駄目だ、それよりこのインバラはどうだ」自分「インバラはいいよ」

男「なんで嫌なんだ、こいつは最高だぞ」というやりとりをしていたら向こうからV8の低音が聞こえてきた。そこに現れたのは1955年式キャデラック・エルドラドのコンバーチブル。

男「タクシに乗りたいのか?」自分「このベルエアは乗れるか?」男「こいつは調子が悪いから駄目だ、それよりこのインバラはどうだ」自分「インバラはいいよ」

男「なんで嫌なんだ、こいつは最高だぞ」というやりとりをしていたら向こうからV8の低音が聞こえてきた。そこに現れたのは1955年式キャデラック・エルドラドのコンバーチブル。



平松拓也(文) 舞(写真)

荷物を満載したトヨタ・デリバойで行く車中泊旅行をこよなく愛するしがないサラリーマンの旦那とカメラマンの嫁。

旅のモットーは「行き当たりばったり」。



今回の写真のイメージ曲

Bill Haley & His Comets
Rock Around The Clock

キャデラックが生産された同時期に、ロック時代の幕を開けた1曲。ビルボードヒットチャートで1位になって全世界にロックンロールを広めた。蓄音機(SPレコード 78回転盤)で聴くと世界の人が初めてロックンロールに触れたに衝撃をダイレクトに感じることができる。

EnshuSiaast Friendly Shops

The EnshuSiaast Magazineは
記載のショップにて配布しています。

Green Cog	053-441-4250
GS BURGER	090-8544-5356
GiL HAIR&SHAVING	053-548-6454
デリシャスキッチン	090-6023-9800
MotoService EDGE	053-424-8586
Rachel	053-589-5927

浜松市北区

太鼓屋JALI	053-523-2986
T-flow	053-526-0806
長坂養蜂場	053-524-1183
HORSESHOE-BEND	053-525-9985
WATTS	053-526-2261

浜松市浜北区

KUSHITANI PERFORMANCE STORE	
NEOPASA浜松店	

浜松市天竜区

Spiral	053-925-6001
本田宗一郎ものづくり伝承館	053-477-4664
マイルストーン	053-923-1250

磐田市

クロスオーディオ	0538-32-1023
KNOTT'S BERRY FARM	0538-35-7003
美容室 カモミール	0539-62-6077
兵藤楽器磐田店	0538-37-0354

袋井市

koti by Luomu	0538-48-5522
JUNK MASTER	0538-84-7996
SWEN袋井店	0538-41-2155
兵藤楽器袋井ミュージックセンター	0538-42-2037
めがね工房FUJITA	0538-23-8912
RIDER'S	0538-43-6005
YSP袋井	0538-43-4646

掛川市

しばちゃんランチマーケット	090-2342-2725
ならここキャンプ場	0537-25-2055
Rise Burger	0537-29-6613
LEFTY BOND	0537-26-9068

湖西市

杉浦タイヤ商会	053-594-1728
はまなこ みんなのカフェ	053-578-3888
BONZO COFFE	053-528-7686

東三河地区

バイクサポートFTW	0532-88-6011
バイクショップZAPPER	0532-32-7576
FULL HOUSE	0532-35-6684

浜松市中区

印度カレー mana	053-458-1773
オフィスヒット	053-489-3470
CUSTOM FEVER	053-455-6755
自家焙煎珈琲店 鴨江珈琲	053-401-1810
川島モーターズ本店	053-471-2543
川島モーターズ元浜店	053-478-0877
ヘアアトリエ・キートス	0120-416-429
くれいじーママ	053-473-7955
カフェレストランざぼん	053-441-9820
Sonix	053-476-6688
タイラレーシング	053-437-2125
ツバキオーディオ	053-471-8181
HighMeal	053-525-9552
Piste HAIR DESIGN	053-489-3336
ピストロ・ヒルマン	
PLATERO	053-456-2957
古橋商会	053-453-5985
PRECIOUS JUNK	053-455-5625

ホンダドリーム浜松

POPS倶楽部	053-412-6330
MUMBLES	053-525-7383
Live House浜松窓枠	053-420-0728
ROBANOMIMI	053-451-3035
YSP浜松	053-471-0022
ヤマハミュージックリテイリング 浜松店	053-465-4545
	053-454-4111

浜松市東区

art tool / アートツール	053-422-7765
アニー コーヒー	053-422-7765
アビーロード	053-581-9777
オグショー	053-467-0533
オートプラザドリーム	053-421-0122
音楽天国 浜松市野店	053-411-0819
音楽天国 浜松市野店	053-462-1059
SWEN浜松店	053-411-5133
スズキワールド浜松	053-411-5133
Tickle	053-464-8198
トライアンフ浜松	053-467-0160
	053-422-6711

南海部品浜松店

ハーレーダビッドソン浜松	053-463-0111
b SPACE	053-466-3210
Huge Motorcycles	053-422-2055
HYOD PLUS浜松	053-411-8334
PePe Motorcycles	053-465-8282
遊楽民	053-581-7685
	053-571-0703

浜松市西区

カワサキ プラザ浜松	053-415-1177
コーヒー・ブラックバード	053-486-0365
DATZ浜松	053-486-1200
ライダーズカフェはまなこ	053-486-1200
4xC	053-596-3770
	053-489-3113

浜松市南区

いろどり屋	053-482-9809
カマラド・ガラージュ	053-426-2830
KUSHITANI浜松本店	053-443-1819

※上記フレンドリーショップのほか、谷島屋書店・県西部各店、浜松駅構内・観光インフォメーションセンターでも配布しています。

Aerophone

Digital Wind Instrument

Aerophone AE-10



Aerophone GO AE-05

ローランド株式会社
<https://www.roland.com/jp/>

Roland



常連客ドンさん

「喫茶ゆるはま」の常連客。喫茶店が大好きで、遠州地域の喫茶店に足しげく通い、マスターに話を聞いてもらいにくる変わり者。

マスター

昭和の高度成長期から浜松市で「喫茶ゆるはま」を営んでいる名物マスター。遠州地域の喫茶文化に造詣が深い。寡黙だが人の話を聞くのが上手。



文：ドン・サハラ
 絵：ミキ・ヤマシタ

浜松市内の一角にある、知る人ぞ知る隠れ喫茶「喫茶ゆるはま」には、昭和の時代から遠州の喫茶文化を見続けてきた名物マスターと地元を愛する常連客ドンさんが、遠州の喫茶文化について毎日雑談しています。

とんがり屋根は 老舗のこだわりの証

カランコロン：
 マスター（以下マ）：いらっしやい、ドンさん。とうとう大型二輪免許とったんだって？
 ドンさん（以下ド）：さすがマスター情報が入るの早いね。
 マ：それで、今日はどこの喫茶店に行ってきたんだい？新しいバイクであちこち走り回ってるんでしょ？
 ド：あら、バテてるね。そうなんだよ。今日はバイクに沢山乗ったからお腹が空いちやってさ。「ざぼん」に行ってきたんだ。
 マ：「ざぼん」さんか。僕もたまに行くよ。
 ド：なんてたって、ご飯が美味いからね。がつり食事をしたい時は「ざぼん」一択だね。
 マ：あそこは、創業以来手作りにこだわってるからね。食材なんかも、旬や産地に気を使って、安心して安全な料理を食べさせてくれるから嬉しいよね。
 ド：そうなんだよな。『創業以来』って言うのは簡単だけど、なかなか出来ることじゃないよな。
 マ：たしか、1982年の創業のはずだから、かれこれ36年間、こだわりの守り続けてるんだね。
 ド：36年も営業してるんだ！確かに「ざぼん」って皆んな知ってるし、ファンが多いお店だもんな。

マ：しかも、創業からずーっと24時間営業にこだわってきたみたいだから、いつでも思い立ったらご飯を食べに行けるのも魅力なんだよね。
 ド：俺も若い時なんかは女の子と「ざぼん」に行くのを口実に夜中にデートしたな。もちろん、それが今のかあちゃんだけだね。
 マ：当時は24時間営業のお店なんて浜松に無かったから、ドンさんみたいな若い人が多かったんだろね。
 ド：ところがね、最近営業時間が変わって、AM8:00までになったんだよ。マスター知ってた？
 マ：そうなんだ。それは知らなかった。確かに、今の時代だと24時間営業にこだわらなくてもいいのかもしれないね。
 ド：それでも、モーニングやランチなんかは常連さんが今でも変わらずに通っているし、休日や夜は新しい世代の若者や家族連れなんかも沢山お客さんが来るみたいだよ。
 マ：同じ土地ですーっとブレずに営業し続けている事も、お客さんに支持される理由なんだろうね。地元に愛されているお店だね。
 ド：店内に入るとき、時間がゆっくり流れてるっていうか、落ち着ける空間なんだよな。
 マ：あの印象的な三角屋根の建物も当時のままだからね。
 ド：ところで、なんで店名が「ざぼん」なんだろう？マスター知ってる？



カフェレストランざぼん
 浜松市中区森田町 200-8
 TEL/053-441-9820
 営業時間/AM8:00～AM2:00
 ラストオーダー/AM1:00

マ：ざぼんって浜松の人にはあまり馴染みがないかもしれないけれど、西日本で栽培されている柑橘類なんだよ。たしか、創業者の会長が鹿児島出身だから「ざぼん」にしたんだろうね。
 ド：そうなんだ。なんか素朴でいい響きだなーって思ってたんだ。
 マ：「ざぼん」さんは、スイーツも充実してるから、甘党のドンさんには天国じゃないのかい？
 ド：そうそう、何とかは別腹ってあれは本当だよな。がつりご飯食べた後も、隣のカップルが食べてたパフェが羨ましくなってるわ。頼んじゃったもん。
 マ：あそこのパフェは大きいのに・・・ドンさん凄いな。
 ド：わっはっはー！おかげでお腹が出ちゃって、バイク乗るときにお腹がつつかえて苦しい苦しい。
 マ：でもパワーのある大型バイクだから、重いドンさんが乗っても元氣よく走るでしょ？良かったね。免許とって。
 ド：そうそう、俺みたいに、重いやつほど大型乗らないとね・・・ってマスターそれは言い過ぎじゃ・・・

さあ、踏み出そう

V-Strom 250

「街中を走るときの弾む心」「ワインディングでの胸の高鳴り」
「アドベンチャーツアラーとしての充足感」
スズキ独自のフォルムを継承した、
スポーツアドベンチャーツアラー、Vストローム250。
Vストロームの名に恥じないこだわりを追求し、
あなたの冒険心を解き放つ。



※掲載の写真は、用品(別売り)装着車です。
【トッパケース、トッパケースプレート、サイドケースセット、サイドケースプレート、スリッカーロックセット】



パールネブルーブラック /
ソリッドダズシルバーライエロー(BJE)



ダイヤモンドレッドメタリック(YYW)



パールネブルーブラック(4CX)

V-Strom250 メーカー希望小売価格(消費税8%込み) **¥570,240** (消費税抜き¥528,000)

■メーカー希望小売価格には、保険料・税金(消費税を除く)・登録などに伴う諸費用は含まれておりません。 ■メーカー希望小売価格は参考価格です。販売価格は各販売店が独自に定めていますので、詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。 ■メーカー希望小売価格は消費税8%にもとづく価格です。
■車体色は印刷のため、実物とは異なる場合があります。 ■仕様および装備は予告なく変更する場合があります。 ■掲載写真には、合成または特別に許可を得て撮影したものが含まれます。 ■製造事業者: 常州豪爵鈴木摩托車有限公司 ■製造国: 中国 ■輸入事業者: スズキ株式会社

V-Strom 250 ツーリング サポートキャンペーン

期間中、V-Strom250の新車をご成約と同時に、3ラゲッジシステムもご注文のお客様対象!

キャンペーン期間
2018 **3/1** (木)
9/30 (日)

メーカー希望小売価格(合計) **¥92,880** の (消費税8%込み)
3ラゲッジシステム
(純正用品) **30%OFF!!**

※取付工賃は、別途お客様の負担となります。
※キャンペーン実施店、詳細はスズキホームページをご覧ください。 <http://www.suzuki.co.jp/>



一般社団法人 自動車公正取引協議会・会員



ホームページで販売店をご確認ください。



スズキの二輪新車(競技用車種・電動アシスト自転車は除く)には、2年保証が適用されます。



スズキでは廃棄二輪車のリサイクルを推進しています。旧リサイクルマークがついていない車両であっても、廃棄時にリサイクル料金の負担はございません。※廃棄二輪取扱店に車両をお持ちの場合、収集・運搬費用が別途必要となります。詳しくは、廃棄二輪取扱店にお問合せください。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスズキ販売店、または下記お客様相談室まで。
スズキ株式会社 お客様相談室 ☎ 0120-402-253 | 受付 | 9:00~12:00 | 時間 | 13:00~17:00
○弊社お客様相談室におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、スズキ株式会社ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。 <http://www.suzuki.co.jp/>



#バイク月間